

科目名	現代の国語	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組
学習の到達目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力を伸ばす。 2 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		教科書・副教材等	高等学校 標準現代の国語 (第一学習社)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	国語の知識や技能を身につけ、実社会に役立てようとしている。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現	自分の思いや考えを広げたり深めたりして、伝え合う力を身につけている。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して他者への理解を深め、社会に関わろうとしている。			・授業態度 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	○オリエンテーション ○単元 世界を広げる 「なぜ本を読むのか」(随筆) 「世界は謎に満ちている」(リ) ○単元 言葉が開く世界 「言葉遣いとアイデンティティ」 ○言語活動(1) 話し方の工夫・待遇表現・論理的な表現		・高校の国語の授業や勉強方法について理解する。 ・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。		中 間 ・ 期 末
2 学 期	○単元 人間と文化 「水の東西」(評論) 「ステレオタイプの落とし穴」(評論) ○単元 生活の中の表現 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 ○単元 社会と人間 「人はなぜ仕事をするのか」 ○言語活動 「情報の探索と選択」 「スピーチで自分を伝える」 「相手に伝わる案内をする」		・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・筆者が述べる仕事の本質について考察する。		中 間 ・ 期 末
3 学 期	○単元 現代と社会 「イースター島になぜ森がないのか」 「黄色い花束」 ○言語活動 「書き方の基礎レッスン」 「地域の魅力を紹介する」 「社会に対する意見文を書く」		・筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・戦争や平和について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・表記・表現の基本ルール、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。		学 年 末
【技能審査の成果の単位認定】					
・在学中に「日本漢字能力検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「現代の国語」の単位数に2単位を加えることができる。					

科目名	言語文化	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組
学習の到達目標	言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校標準言語文化 (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準				方 法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・話し合い</li> <li>・学習課題の提出</li> </ul>
思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・話し合い</li> <li>・学習課題の提出</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・ポートフォリオ</li> </ul>
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	とんかつ (三浦哲郎) 児のそら寝 (宇治拾遺物語集) 羅生門 (芥川龍之介) 漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。</li> <li>・場面の展開をとらえ、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知らせる。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	よろこびの歌 (宮下奈都) 絵仏師良秀 (宇治拾遺物語) 詩の楽しみ 道程 (高村光太郎) 小景異情 (室生犀星) 二十億光年の孤独 (谷川俊太郎) 故事成語 五十歩百歩 (孟子) 矛盾 (韓非子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公「私」の心情の動きを読み取る。</li> <li>・積極的に説話を読ませ、叙述に基づいて人物造形の面白さを捉える。</li> <li>・近代詩の鑑賞の仕方を理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。</li> <li>・それぞれの詩の発想のおもしろさや、優れた表現を理解する。</li> <li>・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。</li> <li>・作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	夢十夜 (夏目漱石) 枕草子 (清少納言) 鏡 (村上春樹)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・作者の感性の細やかさに気付かせ、現代に相通ずる美意識を理解する。</li> <li>・幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。</li> </ul>			学年末

科目名	国語表現	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成し、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			教科書・副教材等	国語表現（大修館書店）
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動</li> <li>学習課題の提出</li> </ul>	
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動</li> <li>学習課題の提出</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>読書感想文</li> <li>ポートフォリオ</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	単元1 言葉と出会う <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉と表記</li> <li>整った文を書く</li> </ul> 表現への扉①身近な言葉を見つめよう           単元2 伝える・伝え合う <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介ゲーム</li> <li>言葉のストレッチ体操</li> </ul> 表現への扉②伝え合いのヒント           単元3 小論文・レポート入門 <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文とは何か</li> <li>反論を予想して書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を書くために、基本的な表記の決まりや正しい言葉の用い方を確認し、さまざまな「書く」活動の準備をする。</li> <li>文章を書くための基本である「文」について、読みやすくわかりやすい整った文を書く。</li> <li>自己紹介を目的としたさまざまなゲームに取り組み、伝え合いを楽しむ。</li> <li>ミニゲームを通して、コミュニケーションの基礎となる「聞く」「話す」「伝え合う」ことの基礎的な力を培う。</li> <li>小論文とは何かを理解し、基本的な書き方を学ぶ。</li> <li>対立する立場を想定することで、小論文に強い説得力を持たせる方法を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み取って書く</li> </ul> 表現への扉③小論文を書くために           単元4 自己PRと面接 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめて</li> <li>効果的な自己PR</li> <li>将来の自分を考えよう</li> </ul> 表現への扉④自己を見つめる           単元5 メディアを駆使する <ul style="list-style-type: none"> <li>通信文を書き分ける</li> <li>電話を使いこなす</li> <li>電子メールを活用しよう</li> </ul> 表現への扉⑤メディアを考える           単元6 会話・議論・発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>相手や場面に応じた会話</li> <li>建設的な議論の進め方</li> </ul> 表現への扉⑥コミュニケーションを豊かに           読書の広場 <ul style="list-style-type: none"> <li>読書への誘い</li> <li>読書の魅力再発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題文の要旨を正確につかみ、自分の立場を明らかにして意見を展開する練習をする。</li> <li>進路や社会との関係を考える上で、さまざまな表現の土台となる「自分を見つめ、自分を知る」事に取り組む。</li> <li>自分の魅力や特徴をわかりやすく印象的に伝える練習をする。</li> <li>将来の夢をより現実的なものにするために、就きたい職業に就いて調べ、将来の自分について文章を書く。</li> <li>相手や目的によって使い分けられるよう、いろいろな通信文の書き方を学ぶ。</li> <li>改まった場面での電話のやりとりを練習する。</li> <li>電子メールの特徴、やメリットデメリットをふまえた使い方を知り、より上手に使いこなせるようにする。</li> <li>ロールプレイを通して、場面に応じた話し方を学ぶ。</li> <li>集団で意見を出し合い、議論を重ねて結論を出せるよう、より生産的で実りある話し合いの進め方について学ぶ。</li> <li>多くの人の優れた表現に触れ、多様な生き方や考え方を知り、自分の表現を豊かにする。</li> </ul>			中間・期末
3学期	単元 表現を楽しむ 創作活動と発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉遊びや制作、討論会など、さまざまな活動に取り組み、表現を楽しむ。</li> </ul>			学年末

科目名	論理国語	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組
学習の到達目標	言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識・技能を身に付け、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、言語文化の担い手として言語を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		教科書・副教材等	新 論理国語（三省堂）	
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、文章に含まれる情報を理解し、整理する方法について理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動</li> <li>学習課題の提出</li> </ul>	
思考・判断・表現	情報の妥当性や信頼性を吟味して自分の主張を支える根拠を示しながら、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、論点を明確にして的確に伝えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動</li> <li>学習課題の提出</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>言語活動</li> <li>ポートフォリオ</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	若者に友達プレッシャー （辻大介）  情報を整理する  一人で爆笑（飯間浩明）  カタカナ語は享受すべきか	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。</li> <li>論証したり学術的な内容を学んだりするために必要な語句の量を増し、書き手の立場や論点など様々な観点から情報を収集、整理し、目的や意図に応じた題材を選ぶ。</li> <li>主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。</li> <li>情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	多様な視点から考える （前田健太郎） 女性／男性だから〇〇 （瀬地山角） 落語の中の経済学（大竹文雄）  レポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>推論の仕方について理解を深める。</li> <li>設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げ、根拠を明確にして意見文を書く。</li> <li>文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて、主張を明確に伝える構成を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	情報の内容を吟味する  「すべり台社会」と「溜め」 （湯浅誠）  地球上の「旅人」 （ヤマザキマリ） スポーツとナショナリズム （阿部潔）	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を重要度や抽象度などによって階層化し整理する方法について理解を深め、その情報を活用して意見を述べる。</li> <li>主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。</li> <li>表現の仕方と書き手の意図との関係を捉える。</li> <li>設定した題材に関連する複数の資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</li> </ul>			学年末

科目名	文学国語	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	幅広い文学作品に触れる意義を理解し、多様な解釈をし、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を身に付ける。			教科書・副教材等	新 文学国語（三省堂）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	文学的な文章における文体の特徴や習字などの表現技法を理解し、わが国の言語文化の特質について理解している。情景の豊かさや心情の機微を表現する語彙を増やし、文章の中で用いることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・言語活動</li> <li>・学習課題の提出</li> </ul>	
思考・判断・表現	作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。多様な解釈に基づいて、文学的な作品を創作したり、文章の構成や展開、表現を工夫して書いたりすることが出来る。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・言語活動</li> <li>・学習課題の提出</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・言語活動</li> <li>・ポートフォリオ</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	二十億光年の孤独 （谷川俊太郎） 予感（青山七恵）  みんなで作るリレー小説  山月記（中島敦）  少年という名前のメカ （松田青子）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。</li> <li>・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する</li> <li>・読み手に興味を持たせる構成や展開の工夫をする。</li> <li>・心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	創造からの語り （「未知へ」「夕焼け」「売翁炭」）  こころ（夏目漱石） 物語もっと深読み教室  永訣の朝（宮沢賢治）  たけくらべ （樋口一葉・川上未映子訳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりする。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。</li> <li>・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する</li> <li>・出来事の経過にそって、登場人物の気持ちの推移を理解し、適切にまとめる。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	現代に甦る歌物語  項羽と劉邦—『史記』を読む 花山天皇の退位—『大鏡』を読む  む 誘惑する書評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め、自由に想像した物語を表現を工夫して書く力を身に付ける。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。</li> <li>・伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。</li> </ul>			学年末

科目名	古典探究	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	古文や漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深める。			教科書・副教材等	精選古典探究（大修館書店）
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・言語活動</li> <li>・学習課題の提出</li> </ul>	
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・言語活動</li> <li>・学習課題の提出</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・言語活動</li> <li>・ポートフォリオ</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>オリエンテーション 説話『十訓抄』 故事成語 助長・知音 随筆(一) 『徒然草』 『方丈記』</p> <p>史伝 『史記』鴻門の会</p> <p>物語(一) 『伊勢物語』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の授業や勉強方法について理解する。</li> <li>・登場人物の行動に注意して読み、場面の展開を把握する。</li> <li>・故事成語の意味の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。</li> <li>・故事成語の叙述のおもしろさを味読する。</li> <li>・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、『徒然草』の魅力をとらえる。</li> <li>・作者の思想の基調を理解する。</li> <li>・対句的表現や比喩などの修辞技巧を理解し、的確な描写とその表現効果について考える。</li> <li>・長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。</li> <li>・様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。</li> <li>・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。</li> <li>・『史記』と司馬遷についての知識をまとめる。</li> <li>・歌物語の特徴、和歌と地の文との関係や表現技巧を理解し味読する。</li> <li>・当時の人々の生き方、生活や文化、ものの見方や考え方などへの認識を深める。</li> </ul>			中 間 ・ 期 末
2 学 期	<p>随筆(二) 『枕草子』</p> <p>史伝 『史記』四面楚歌</p> <p>物語(二) 『大鏡』</p> <p>物語(二) 『平家物語』</p> <p>漢詩 —近体詩—</p> <p>日記 『土佐日記』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の人柄と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。</li> <li>・平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物とのかかわりについて正確に把握し、当時の中国文化の影響について認識を深める。</li> <li>・漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。</li> <li>・「大鏡」の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。</li> <li>・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。</li> <li>・敬語の意味と用法について整理し理解する。</li> <li>・物語の展開に焦点を当てて読み、登場人物の言動、心情、生き方を読み取る。</li> <li>・軍記物語としての、すぐれた情景描写の表現を味わい、音便の多用、漢詩文の引用などの特徴を理解する。</li> <li>・唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。</li> <li>・近体詩の形式や表現、対句などの近体詩の技法を理解する。</li> <li>・人生観や自然観についての認識を深め、文学作品を鑑賞する能力を高める。</li> <li>・日記としての形式や、文体、作者の意図について理解し、作者の心情を味わって読み、古人の旅についての理解と認識を深める。</li> </ul>			中 間 ・ 期 末
3 学 期	<p>日記 『更級日記』</p> <p>文章 『陶淵明集』 桃花源記</p> <p>物語(三) 『源氏物語』</p> <p>思想—諸子百家の教え—</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語作品などへのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。</li> <li>・散文表現の特色を理解し、作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。</li> <li>・作者の社会批判の精神を理解する。</li> <li>・それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。</li> <li>・物語中の人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。</li> <li>・敬語をはじめ読解の前提となる文法知識を身に付ける。</li> <li>・繰り返し読み、暗唱することを通して中国古代思想を深く読み取り、自己の考え方を豊かにする。</li> </ul>			学 年 末

科目名	国語表現	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			教科書・副教材等	高等学校 国語表現 (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			・授業態度、発言、提出物の状況	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き	
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、発言、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	表現の実践 詩のカレンダーを作る 課題作文を書く 小論文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誕生月の詩を選ぶ」で選んだ詩を持ち寄り、各月の代表詩を決定した各月の代表詩をもとに、カレンダーを作る。</li> <li>・例文を内容・表現・表記の面から分析・評価する。</li> <li>・自分自身について分析し、自己認識を深める。課題作文の書き方を理解し、明確な自己アピールとなる文章を書く。</li> <li>・小論文の書き方を理解する。</li> <li>・小論文を書き、書いた小論文を相互に批評する。</li> </ul>			中間 ・ 期末
2 学 期	表現の探求 日本語の特徴 方言と共通語 敬語の分類  ニュアンスを変える 助詞  日本語のレトリック 古語雑談「やさし」 の語史  時間の見方を変える とき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の、文法・語彙・音節・文字の特徴を理解する。</li> <li>・方言と共通語の特徴を理解するとともに、方言のよさを理解し、方言と共通語を適切に使分けける態度を養う。</li> <li>・目的や場に応じて、適切な言葉遣いで話すことの重要性を理解する。また、正しい敬語について理解し、適切な敬語を用いて話す。</li> <li>・身近な日常会話を通して、日本語に対する興味・関心を持ち、助詞の違いで意味が変化することについて、日本語の文法の特徴を理解するとともに、助詞の違いにこめられたニュアンスの違いを理解する。</li> <li>・日本語における比喩表現について、その種類や用例、効果を理解し、比喩表現が人間の言語生活に与えた影響とその意義を理解する。</li> <li>・言葉の意味の変遷をたどることにより、現在使われている日本語の成り立ちや、日本人のものの考え方の源泉について考える。</li> <li>・現代語と古語との間に意味の違いがある言葉について、どのように意味が異なるか調べて理解する。</li> <li>・論理的な文章を読み、その構成や論証のしかたを、自分の表現に役立てる。</li> <li>・論理的な文章を読み、ものの見方や考え方を広げる。</li> <li>・論理的な文章を読み、その優れている点を話し合う。</li> </ul>			中間 ・ 期末
3 学 期	皁月  コップの中の論戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中の表現技法とその効果を理解する。</li> <li>・登場人物個々の描写のしかたや、心情を表す工夫について理解し、自分の表現に役立てる。</li> <li>・投書を擬した各文章の論点と、その表現の特徴とを理解し、そのように表現した筆者の意図を考える。</li> <li>・論戦に加わる形で自分の意見を書き、相互批評をする。</li> </ul>			実施なし

科目名	現代文B	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組
学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校改訂版 現代文B (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重しての向上を図ろうとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	評論(一) 写真の持つ力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の読み方に習熟する。</li> <li>・「ジャーナリズムに何ができるのか？」という問いに対する筆者の考えを理解する。</li> <li>・写真というメディアの持つ特徴について調べ、まとめる。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	小説(一) 檸檬		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文体・描写・構成に着目し、言語表現の豊かさ、面白さを学ぶ。</li> <li>・場面の展開と、登場人物の心情について、正しく読み取る。</li> </ul>		
	評論(二) 言語が見せる世界		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「プロトタイプ」という概念とその形成について理解する。</li> <li>・現代社会における言語観・生命観について見識を深める。</li> </ul>		
2 学 期	評論(三) 目に見える制度と見えない制度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の論理展開を把握して、筆者の主張を的確に読み取る。</li> <li>・自然で自明と思われているものが、実はある制度やしかけの中で意図的に作られていくものであることを理解する。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	小説(二) 舞姫		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の代表的な小説を読み、文学のおもしろさを味わう。</li> <li>・時代や人間のあり方について理解を深める。</li> <li>・文語文体を味わい、文体・修辞・語句の意味などを正確に捉え言語感覚を磨く。</li> <li>・ある程度の長さのある小説の読み方に習熟する。</li> </ul>		
	詩 足と心 自然の背後に隠れて居る句を切る		<ul style="list-style-type: none"> <li>・散文とは異なる、抽象的な現代詩のおもしろさを積極的に味わう。</li> <li>・近代の代表的詩人である萩原朔太郎の世界を味わう。</li> <li>・萩原朔太郎について、知識や関心を持つ。</li> </ul>		
3 学 期	評論(五) 「である」ことと「すること」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった分量のある評論を読解する。</li> <li>・「『である』論理」と「『すること』論理」の違いを正しく理解する。</li> <li>・「『である』こと」と「『すること』こと」について、自身の価値観に引きつけて考える。</li> </ul>		実 施 な し



科目名	古典A	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組（選択）
学習の到達目標	古文と漢文を読む能力を養うとともに、古典についての理解や関心を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする態度を育てる。			教科書・副教材等	古典A（三省堂） 新訂国語図説（京都書房）
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1	宇治拾遺物語 『百鬼夜行』 『観音になった男』 『袴垂と保昌』 『応天門炎上』 『歌詠みの徳』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話に描かれた登場人物の特徴に関心を持つ。</li> <li>・古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間・社会・自然などについて考察する。</li> <li>・古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりする。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	2	故事成語 『塞翁が馬』 『朝三暮四』 『杞憂』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。</li> </ul>		
2 学 期	3	今昔物語集 『絵師と大工』 『玄象の琵琶』 『姨母捨山』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話が描く世界のおもしろさを味わう。</li> <li>・説話の構成と展開を理解し、その理解した内容を表現できるようになる。</li> <li>・登場人物の心情を考えて音読・朗読する。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	4	論語 『孔子の人となり』 『孔子と政治』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孔子の考えに興味を持ち、現在に照らし合わせる。</li> <li>・孔子の考え・心情を理解しながら音読する。</li> <li>・孔子・老子の人となりと政治観を理解する。</li> </ul>		
	5	十訓抄 『笛吹き成方』 『行成と実方』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代中国の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。</li> </ul>		
6	老子 『大同廢れて、仁義あり』 『天下水より柔弱なるは莫し』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や比喩を正確に読みとり、その思想を追究する。</li> </ul>			
3 学 期	7	三国志 『三たび往きて、乃ち見る』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三国志に興味を持ち、前後のストーリー展開を知ろうとする。</li> <li>・歴史文学のおもしろさを味わう。</li> </ul>		実 施 な し

科目名	古典B	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)	
学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。			教科書・副教材等	精選古典B 改訂版 (大修館書店) 新訂国語図説 (京都書房)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題		
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題		
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題		
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	説話 『古今著聞集』 説話と寓話 長安何如日遠 仁斎赤貧 随筆 『枕草子』 物語(一) 『大和物語』 史伝 荆軻 物語(一) 『大鏡』		<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦場での連歌に込められた人物の心情をとらえる。</li> <li>・論理の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。</li> <li>・歴史上の人物の感慨や人生観を理解する。</li> <li>・会話や敬語に注意して、登場人物の関係を把握する。</li> <li>・作品の“場”としての宮廷の日常生活のあらましを理解する。</li> <li>・当意即妙の、言葉によるやりとりのおもしろさを読み取る。</li> <li>・人間の生き方、思想や感情を理解し、人生についての認識を深める。</li> <li>・「姥捨伝説」について調べる。</li> <li>・長い文章を読み、漢文を読解する能力を増進する。</li> <li>・『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さを鑑賞する。</li> <li>・『史記』の文章表現の妙味や、そこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにする。</li> <li>・登場人物の才能、行動、心情を作者がどのようにとらえているかを読み取る。</li> <li>・当時の中国文化の影響について認識を深める。</li> <li>・『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。</li> </ul>			中 間 ・ 期 末
2 学 期	日記 『蜻蛉日記』 漢詩 桃夭・石壕吏 物語(二) 『源氏物語』 文章 春夜宴桃李園序 評論 『古今和歌集仮名序』 『玉勝間』 思想 老子・韓非子		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。</li> <li>・地の文、会話文、和歌のつながりを把握する。</li> <li>・歴代の古体詩を読み、その特色を理解する。</li> <li>・古体詩の形式や表現について理解する。</li> <li>・文学作品を鑑賞する能力を高める。</li> <li>・語句の意味や文法を理解し、正しく読解する。</li> <li>・場面の状況や人物の心理を正確にとらえ、微妙な心理の動きを理解する。</li> <li>・和歌や自然描写などを味読する。</li> <li>・当時の習俗や文化的環境についての理解を深める。</li> <li>・敬語に注意して、人物関係を把握する力を高める。</li> <li>・『源氏物語』の特色を理解し、内容への関心を高める。</li> <li>・名文として知られる作品を深く読み味わう。</li> <li>・作品に表れる作者の人生観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。</li> <li>・中国の文章のジャンルとその歴史について知る。</li> <li>・和歌についての作者のとらえ方を読み取る。</li> <li>・学問とは何かについて、筆者の考えを理解し、考えを深める。</li> <li>・背景となる諸子百家の状況についての理解を深める。</li> </ul>			中 間 ・ 期 末
3 学 期	和歌・歌謡・俳諧(古典編Ⅰ)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の発想や表現、韻律、修辭法など、独特の表現方法を理解する。</li> <li>・『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の歌風の特徴をつかむ。</li> <li>・歌謡の韻律、題材上の特色について考える。</li> <li>・切れ字や季語など、発句の決まりを理解し、芭蕉・蕪村・一茶それぞれの俳風を鑑賞する。</li> </ul>			実 施 な し

科目名	国語探究Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	<p>評論や報告文を読むにあたって必要な現代社会の用語やその意味・使い方などを学習させた上で、実際に自分の意見を論理的に構築して、小論文として書いていく力を身に付けさせる。</p>			教科書・副教材等	サクセス 小論文講座 (桐原書店)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<p>国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度、発言、提出物の状況</li> </ul>	
話す・聞く能力	<p>目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き</li> </ul>	
書く能力	<p>自分の考えを必要な情報を用い、適切な表現による文章にし、自分の考えを深め、発展させている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題</li> </ul>	
知識・理解	<p>言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、授業態度、発言、課題</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	<p>1 知識と情報 環境と生態系の保全 食の確保と安全 森林と地球温暖化 持続可能な社会 日本の農業</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿用紙の使い方、禁則処理等の既習事項の定着を図る。</li> <li>原稿用紙に意見を書く。</li> <li>現代社会の、主に農業や科学の分野で問題となっているものについて、その現状を学習する。</li> </ul>		学 期 末
2 学 期	<p>2 小論文の実践 要約の仕方 キーワードの見つけ方  課題の主旨をつかむ  意見を定める 理由付けをする 反証の仕方</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題文を要約する練習をする。</li> <li>小論文の基本的な書き方をもとに、実際の自分の意見を小論文に書く。</li> <li>例題に沿って、さまざまなパターンの小論文を練習する。</li> </ul>		学 期 末
3 学 期	<p>3 さまざまな課題 問題提起の仕方  課題のタイプと書き方  効果的な具体例の出し方</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題文の読解と、そこから問いを立てる方法を身に付ける。</li> <li>より説得力のある小論文になるよう、具体例を工夫する。</li> </ul>		実 施 な し

科目名	歴史総合	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組	
学習の到達目標	近現代の歴史の変化に関わる事象について、日本史と世界史の関連性を理解し、グローバルな視点から課題を多角的・多面的に考察、議論する力を養うとともに、国際社会の形成者として、我が国の歴史や他国の文化を尊重する資質や能力を育むことを目指す。			教科書・副教材等	歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版社)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準			方 法		
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、広い視野から世界と日本を捉え、近現代の歴史を理解している。諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業プリント、ノート</li> <li>資料の読み取り</li> </ul>		
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色を相互の関連性や現在とのつながりに着目して、多角的・多面的に考察できる。また、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けた構想や説明、話し合いができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ノートなどの提出物</li> <li>資料の読み取りや活用</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現に向けて課題を主体的に追求、解決しようとする態度を身に付けている。国際社会の形成者として、日本の歴史、他国や他国の文化、国際平和を尊重することの大切さを認識している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>ノートなどの提出物</li> <li>課題発見及び解決に関する論述やレポート</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	<b>第1部 近代化と私たち</b> 近代化への問い 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国 5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新 9 富国強兵と文明開化 10 日本の明治初期の外交 11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と日清戦争 13 帝国主義 14 日露戦争と韓国併合			<ul style="list-style-type: none"> <li>資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。</li> <li>アジアの繁栄、ヨーロッパ各国のアジア進出、世界的な規模での経済発展について理解する。</li> <li>清や江戸幕府の統治法や経済成長について学び、琉球とアイヌの役割に留意して、江戸時代の日本の商品生産や対外貿易の特徴を理解する。</li> <li>産業革命によるヨーロッパ各国の変化を理解し、世界的な影響を考える。</li> <li>開国後、日本では欧米の知識・技術の受容が進んだことを理解し、この時代の国際的諸運動の進展や社会の変容について具体例を整理する。</li> <li>日本の産業革命の展開や、紡績業・製糸業の発展を理解し、その特徴を考察する。</li> <li>帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを世界的な視野で話し合う。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	<b>第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b> 国際秩序の変化や大衆化への問い 1 大衆運動の芽生え 2 第一次世界大戦 3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会 9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア進出 12 第二次世界大戦 13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結 15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立			<ul style="list-style-type: none"> <li>資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。</li> <li>第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察し、総力戦による社会の変化を学ぶ。</li> <li>日本の参戦後、日中両国間での動きを世界的な視野から考察する。</li> <li>国際協調のなかで結ばれた条約の内容を整理し、各民族による独立や国家建設の動きについて理解を深める。</li> <li>恐慌が世界に波及した要因を探り、その後の世界にあたえた影響を考察する。</li> <li>第二次世界大戦が戦後の世界にどのような影響を与えたか考え、グローバルな視点から考察したことを話し合う。</li> <li>連合国による日本の民主化政策理解し、その目的や特徴を探る。</li> <li>連合国による日本の占領政策の転換について理解し、それが日本の政治・経済にどのような影響を与えていったかを考察する。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	<b>第3部 グローバル化と私たち</b> グローバル化への問い 1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と雪解け 3 冷戦の展開 4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長の光と影 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦の地域紛争 13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。</li> <li>国際社会で第三世界が形成された背景と、その活動について理解する。</li> <li>ベトナム戦争発生の背景や経過、アメリカの政治におよぼした影響について考察する。</li> <li>1970年代の東西の緊張緩和の経過を理解し、その背景となった米ソの威信低下や、米中接近の理由を探る。</li> <li>高度経済成長後も、日本が安定成長を維持できた理由について理解する。</li> <li>冷戦後の世界で、経済のグローバル化が進んだことで生じた社会の変化を認識し、グローバル化の前提となった、地域統合や自由貿易圏、WTOの設立の意義を対話によって理解を深める。</li> <li>日本の諸課題について、国内で、また、諸外国との関係でどのように対応が必要か多面的・多角的に考察し、探究する。</li> </ul>		学年末

科目名	地理総合	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組
学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を基に、課題を追及したり解決したりする力を身に付ける。</p> <p>広い視野に立ち、グローバル化する国際社会を、主体的に生きる公民としての資質・能力を身に付ける。</p>			教科書・副教材等	<p>地理総合 世界に学び地域へつなぐ（二宮書店）</p> <p>新詳高等地図（帝国書院）</p>
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性を理解している。</li> <li>世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解している。</li> <li>地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>各種プリントやノートの内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察している。</li> <li>地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>資料の読み取り課題への取り組みや資料を活用した発表</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われ、多面的・多角的に考察し、深く理解しようとしている。</li> <li>世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深めている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の積極性と内容</li> <li>課題の内容</li> <li>ノートのまとめ方</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	第1章 地図とGISの活用 第2章 地理的環境の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。</li> <li>GISの特徴や利用方法、しくみについて理解し、地域の特徴を分析する方法と技能を身に付ける。</li> <li>内的営力や外的営力が地形の形成に与えている影響を理解し、人々の生活文化との関わりについて理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第3章 世界各地の生活文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解する。</li> <li>気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して、「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>産業の発達や生活文化の多様性について、主題図や写真などの資料を通じて理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第4章 地球的課題と国際協力 第5章 生活圏の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起こっている問題について多面的・多角的に考えていく必要があることを認識する。</li> <li>地球的課題の問題点やその要因について、主題図やグラフなどの資料を通じて理解し、SDGsと関連付けて解決策を考える。</li> <li>自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどのようにすれば良いのかを考え、居住地域での防災・減災意識を高める。</li> </ul>			学年末

科目名	日本史探究	単位数	2	学科・学年・学級	普通科2年2組(選択)
学習の到達目標	日本の歴史の展開を世界的視野に立ち、歴史を構成する要素を、幅広い見方で考察し理解する。民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚、及び国際社会に主体的に対応できる資質を養う。			教科書・副教材等	詳説日本史 日本史探究(山川出版社) 新詳日本史(浜島書店)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解できている。</li> <li>諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切、効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>ワークシートやノートの内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して、概念などを活用しながら、多面的・多角的に考察できる。</li> <li>歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想できる。また、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>史料、統計やグラフなどの資料の読み取りや活用</li> <li>課題の発見課題及び解決に向けた論述やレポート</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に探究しようとしている。</li> <li>多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さを認識している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の積極性と内容</li> <li>課題やレポートの内容</li> <li>ノートのまとめ方</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷 第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。また、国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成を基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。</li> <li>中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化に着目し、環境への適応と文化の形成について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方制度の展開と武士 第5章 院政と武士の躍進 1 院政のはじまり 2 院政と平氏政権 第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に律令体制の再編と変容を理解する。また、武士の政治進出、土地支配の変容から古代から中世への時代の転換を理解する。</li> <li>中世の特色を示す適切な資料から、歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</li> <li>権力の主体の変化、東アジアとの関わりに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察、表現する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	4 鎌倉文化 第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>武家政権の成立と展開と変容、産業の発達、宗教や文化の展開、日明貿易と琉球王国、村落や都市の自立、多様な文化を基に、武家政権の伸張や地域権力の成長、社会や文化の特色や変容を理解する。</li> <li>公武関係の変化、ユーラシアとの交流、経済・文化への影響、地域の多様性などから主題を設定し、中世の国家・社会の変容について多角的・多面的に考察する</li> <li>歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</li> </ul>			学年末

科目名	地理探究	単位数	2	学科・学年・学級	普通科2年2組(選択)
学習の到達目標	<p>現代世界の地理的認識を深める。系統地理的、地誌的な探求の方法を学習し、地理的な見方や考え方など地理的技能を身に付ける。</p> <p>現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する力を身に付ける。</p>		教科書・副教材等	地理探究(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解している。</li> <li>現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>各種プリントやノートの内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想している。</li> <li>考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができる</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>資料の読み取り課題への取り組みや資料を活用した発表</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界諸地域や日本において見られる課題を、主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>地理的な課題への多面的・多角的な考察や、深い理解を通して、社会へ参画することへの意識が高まっている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の積極性と内容</li> <li>課題の内容</li> <li>ノートのまとめ方</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 第3章 人・モノ・金のつながり 第4章 人口、村落・都市 第5章 文化と国家	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済発展の結果として起きている様々な問題について、生活文化と対応させながら考える。</li> <li>産業の発達と地域統合について、歴史的背景を踏まえて理解する。</li> <li>社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、主題図や写真などの資料を通じて、民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。</li> <li>鉱工業が発展していく中で生じる貧富の差の現状を捉え、その解決に向けた取組を考える。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。</li> <li>東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアの多様な事象を、項目ごとに整理し、日本との結びつきや、地域的特色への理解を深める。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を基にして、自然災害に強い国土、変化する産業と持続可能な成長、人口減少社会の活性化、多文化共生社会の実現に関して、将来の日本の国土像について、日本がかかえる地理的な課題を多面的・多角的に考察、探究させる。</li> </ul>			学年末

科目名	郷土史探究	単位数	2	学科・学年・学級	普通科2年2組（選択）
学習の到達目標	郷土の歴史の展開を世界的視野に立ち、歴史を構成する要素を、幅広い見方で考察し理解する。民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚、及び国際社会に主体的に対応できる資質を養う。現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する力を身に付ける。			教科書・副教材等	高校生のための『愛媛県史』学習資料集（愛媛県教育委員会） 詳説日本史（山川出版社）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の歴史の展開について、基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解する。</li> <li>郷土の社会や文化を地域の特性を踏まえて、多角的な視点で捉え、他の地域との関連性を考慮しながら理解を深める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業プリント、ノート</li> <li>資料の読み取り</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開から課題を見だし、文化と伝統の特色についての認識を深めながら世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断することができる。</li> <li>諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ノートなどの提出物</li> <li>資料の読み取りや活用</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>ノートなどの提出物</li> <li>課題発見及び解決に関する論述やレポート</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	第一部 原始・古代 第一章 日本文化の黎明 第二章 古代国家と古代文化の形成 第二部 中世 第三章 中世社会の成立と文化の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>黎明期の愛媛の歴史的環境、古墳文化の成立過程、律令体制下の地域社会、武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に古代から中世の政治・社会や文化の特色を理解する。</li> <li>自然環境と人間の生活の関わり、他の地域との交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代から中世の地域社会の形成過程について考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第三部 近世 第四章 幕藩体制の推移と文化の動向 第四部 近代・現代 第五章 近代日本の形成とアジア 第六章 両世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕藩体制下の地域社会、その動揺と地域の変容から近世の生活と文化の特色を理解する。明治維新期の地域社会の変化、学問や教育制度の拡充、社会問題の発生、両大戦の展開などを基に地域社会の生活や社会の変容を理解する。</li> <li>近世の地域社会の特色、近世から近代への国家や地域の変容、近代文化の形成について多角的・多面的に考察し、歴史の画期などについて表現し、議論する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第七章 現代の世界と日本 テーマ別編 ・風土と文化、生活と信仰 ・歴史上の人物	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、地域社会の政治・経済、国民生活の変容を理解する。</li> <li>グローバル化の進展、国民生活や地域社会の変化に着目して、地域の政治や経済に関わる課題を見つけ、より良い地域社会のあり方について探究する。</li> </ul>			学年末



科目名	地理 A	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 地理的事象の地域性・背景・要因を理解し、課題や将来像を考えることができる。 2 地理の学習を通して、民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚を持ち、国際社会に主体的に対応して生きることのできる力を身に付ける。		教科書・副教材等	基本地理 A (二宮書店) 新詳高等地図 (帝国書院)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。			・授業中の態度 ・発表の積極性と内容 ・プリントやノートのまとめ方	
思考・判断	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正、公平に判断することができる。			・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容	
資料活用の技能・表現	地図や統計など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。考察した過程や結果を適切に表現することができる。			・定期考査 ・地図・統計・グラフの選択と読み取り、活用 ・資料を用いた発表	
知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。			・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第1章 球面上の世界 第2章 自然・生活・文化と私たちの暮らし		・世界の各地域では時刻及び季節が異なることを理解し、世界各地の時刻の求め方を習得する。 ・地図の技法と用途に応じて使い分ける意味を理解する。 ・情報・通信網の発達が世界各地の結びつきを強めたことや、交通機関の発達により人・モノの移動時間が短縮され、地球を狭くさせたことを理解する。 ・統計資料をもとに作成された主題図を読み取り、世界の貿易の現状を理解する。 ・経済発展に伴う生活の変化と、余暇活動・消費活動の推移について理解する。		中間・期末
2 学 期	第3章 世界各地の生活・文化 第4章 地球的課題		・世界の大地形が人間生活と密接に関係していることを知り、プレートテクトニクス理論を関連させながらその成因を理解する。 ・世界の諸地域の気候を理解し、人間生活との関わりについて考察する。 ・民族の定義を理解し、世界の言語・宗教分布を理解する。 ・アメリカ合衆国の国土・自然環境を知り、生活する人々の多様性について理解する。 ・乾燥地域の人々の生活・文化を水との関わりから理解するとともに、石油資源・宗教が生活・文化に与える影響を考察する。 ・ヨーロッパ統合の背景と過程を理解する。 ・オーストラリアの生活・文化の特徴と日本との関わりを理解する。		中間・期末
3 学 期	第5章 生活圏の諸問題		・地球的課題の出現を、地域性を踏まえ理解する。 ・人口問題、居住・都市問題、食糧問題、資源・エネルギー問題、環境問題について理解し、解決方法を考察する。 ・多様な問題の相互関連性を理解し、我が国の役割を考察する。		実施なし

科目名	地理 B	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	<p>地球的な視野から、地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深める。</p> <p>地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。</p>		教科書・副教材等	<p>新詳地理 B (帝国書院)</p> <p>新詳高等地図 (帝国書院)</p>	
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識が高まっている。</li> <li>国際社会に主体的に生きる日本人としての責任や在り方・生き方について、自覚を深めようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>発表の積極性と内容</li> <li>プリントやノートのまとめ方</li> </ul>	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地理的事象から課題を見出している。</li> <li>課題を系統地理的・地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>課題解決に向けた論述とその構成及び内容</li> </ul>	
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択し、活用できている。</li> <li>諸資料から現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>地図・統計・グラフの選択と読み取り、活用</li> <li>資料を用いた発表</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地理的事象についての基本的事項や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>各種プリントやノートの内容</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 3章 人口、村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布を理解し、利用の現状や方法を理解する。</li> <li>世界の工業について、現状と課題を考察する。</li> <li>通信の発達による、世界の一体化と地域差を理解する。</li> <li>現代世界の貿易と経済圏について考察する。</li> <li>世界の都市・居住問題の要因や対策をとらえる。</li> <li>世界の衣食住に地域的差異があることに気づくとともに、世界的に画一化が進む現状を考察する。</li> <li>現代世界の民族・領土問題を大観し、そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。</li> <li>東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアの多様な事象を、項目ごとに整理し、日本との結びつきや、地域的特色への理解を深める。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	3章 現代世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。</li> </ul>			実施なし

科目名	日本史B 日本史探究	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	日本の歴史の展開を世界的視野に立ち、歴史を構成する要素を、幅広い見方で考察し理解する。民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚、及び国際社会に主体的に対応できる資質を養う。			教科書・副教材等	詳説日本史 改訂版 (山川出版社) 新詳日本史 (浜島書店)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>発言や発表の積極性とその内容</li> <li>プリント・ノート</li> </ul>	
思考・判断	我が国の歴史の展開から課題を見だし、文化と伝統の特色についての認識を深めながら世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発言・発表</li> <li>課題の発見及び解決に向けた論述やレポート</li> </ul>	
資料活用の技能・表現	諸資料を収集し、有用な情報を選択し、その情報を活用し、歴史的な事象を追究する方法を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>作業プリントの取組</li> <li>資料・統計・グラフの選択と読み取り、活用</li> </ul>	
知識・理解	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を世界的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発言・発表</li> <li>各種プリント・ノート</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第7章 幕藩体制の展開 (1) 幕政の安定 (2) 経済の発展 (3) 元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 (1) 藩政の改革 (2) 宝暦・天明期の文化 (3) 幕府の衰退と近代への道 (4) 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>法や制度による支配秩序の形成と身分制、経済や学問・文化の発展を基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕藩体制の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活や文化を基に幕藩体制の変容、近世の庶民の生活の特色、近代化の基盤の形成を理解する。資料を読み取り、近世の特色について多面的・多角的に考察し、課題を見つける。</li> <li>社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係に着目して、主題を設定し、国家・社会の変容について歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期を表現する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	第9章 近代国家の成立 (1) 開国と幕末の動乱 (2) 明治維新と富国強兵 (3) 立憲国家成立と日清戦争 (4) 日露戦争と国際関係 (5) 近代産業発展 (6) 近代文化の発達 第10章 近代日本とアジア (1) 第一次世界大戦と日本 (2) ワシントン体制 (3) 市民生活の変容と大衆文化 (4) 恐慌の時代 (5) 軍部の台頭 (6) 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 (1) 占領と改革 (2) 冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治を基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。</li> <li>文明開化、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展と教育制度の拡充、社会問題などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。</li> <li>恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化、占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、独立の回復などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会・国民生活の変容、我が国の再出発に関わる事象を理解する。</li> <li>アジアや欧米諸国との関係、戦争が及ぼした影響、欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、教育の普及とその影響、国際社会やアジア近隣諸国との関係、戦争の推移と国民生活の影響などに着目して、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性を多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期について根拠を示して表現する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	第12章 高度経済成長の時代 (1) 55年体制 (2) 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 (1) 経済大国への道 (2) 冷戦の終結と日本社会の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度経済成長、社会・経済・情報の国際化を基に、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。</li> <li>冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul>			実施なし

科目名	公共	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科2年1組 普通科2年2組
学習の到達目標	社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方について理解する。 社会の諸課題について、事実を基に多面的に考え、公正に判断する力と、構想したことを議論する力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 新公共 (第一学習社)
評価規準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の諸課題を考察するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。</li> <li>諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>各種プリントやノートの内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用できている。</li> <li>事実を基に、多面的・多角的に考察し公正に判断し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、構想したことを議論している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>課題解決に向けた論述とその構成及び内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の積極性と内容</li> <li>課題の内容</li> <li>ノートのまとめ方</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。</li> <li>公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを理解する。</li> <li>伝統や文化と、自らの行動様式や考え方との関係について理解する。</li> <li>生涯にわたって学習していくことの意義を考える。</li> </ul>			中間・期末
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方  第3章 公共的な空間における基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に参画する際、選択・判断をするための手掛かりとなる概念や理論を理解する。</li> <li>選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える。</li> <li>人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。</li> </ul>			
2 学 期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現されていくことについて理解する。</li> </ul>			中間・期末
	第2章 政治的な主体となる私たち  第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立を調整して合意を形成することなどを通して、よりよい社会が築かれることについて理解する。</li> <li>公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、資源の効率的な配分が図られることを理解する。</li> <li>市場経済システムを機能させたり、国民福祉の向上に寄与したりする役割を、政府などが担っていることを理解する。</li> <li>より活発な経済活動と、個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。</li> </ul>			
3 学 期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、自立した主体として、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する。</li> </ul>			学年末

科目名	政治・経済	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、良識ある公民としての基礎的教養を高める。 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 政治・経済 (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄に対して関心が高まっている。</li> <li>・主体的、意欲的に課題を追究している。</li> <li>・社会的事象を総合的に考える態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について、自覚を深めようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・発表の積極性と内容</li> <li>・レポートやプリント、ノートのまとめ方</li> </ul>	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄から課題を見出している。</li> <li>・社会事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野にたつて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査（論述問題）</li> <li>・授業中の発表と内容</li> <li>・課題解決に向けた論述とその構成及び内容</li> </ul>	
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸事象についての資料を様々なメディアを通して収集している。</li> <li>・情報を主体的に選択活用できているか。</li> <li>・課題などを追究し考察した過程や結果を適切に表現できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査（論述問題）</li> <li>・統計・グラフの選択と読み取り、活用</li> <li>・資料を用いた発表</li> <li>・レポート及び課題プリント</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査及び小テスト</li> <li>・授業中の発表と内容</li> <li>・各種プリントやノートの内容</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法  第2章 現代の国際政治と日本		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権保障や法の支配など、民主政治の原理やその発展について理解し、民主政治の在り方について考察する。</li> <li>・日本国憲法の成立過程や、基本原則について理解するとともに現代の社会における課題について考察する。</li> <li>・国会、内閣、裁判所などの政治機構について理解を深め、日本の政治機構の課題について考察する。</li> <li>・「民主主義の学校」といわれる地方自治の意義と問題を理解し、今後の地方自治の在り方について考察する。</li> <li>・日本の選挙制度について理解を深め、自発的に政治に参加する意識を養う。</li> <li>・国際政治のしくみを理解し、国際社会における日本の役割を考察し、国際社会の一員としての態度を養う。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質  第2章 国民経済と国際経済 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義経済と社会主義経済の特徴やその変容を理解する。</li> <li>・市場経済の機能を理解し、景気の変動、財政の役割について理解を深め、現代社会の経済の動きを考察する。</li> <li>・日本経済の特質を理解し、日本経済の問題を考察する。</li> <li>・国際経済のしくみや国際分業、国際経済機関の役割について理解を深め、国際経済における日本の役割を考察する。</li> <li>・大きな政府と小さな政府、少子高齢化と社会保障、住民生活と地方自治、食料問題、環境問題、消費者保護、労働問題等の現代の諸課題を追究し、多様な角度から望ましい解決の在り方を考察する。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題、核兵器と軍縮、人種・民族問題、経済摩擦と外交、南北問題、国際社会における日本の役割等の国際社会の政治や経済の諸課題について追究し、国際社会における日本の役割について深く考察する。</li> </ul>		実施なし

科目名	政治・経済	単位数	3	学科・学年・学級	普通科3年2組（選択）
学習の到達目標	現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、良識ある公民としての基礎的教養を高める。 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 政治・経済（第一学習社）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄に対して関心が高まっている。</li> <li>・主体的、意欲的に課題を追究している。</li> <li>・社会的事象を総合的に考える態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について、自覚を深めようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・発表の積極性と内容</li> <li>・レポートやプリント、ノートのまとめ方</li> </ul>	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄から課題を見出している。</li> <li>・社会事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野にたつて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査（論述問題）</li> <li>・授業中の発表と内容</li> <li>・課題解決に向けた論述とその構成及び内容</li> </ul>	
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸事象についての資料を様々なメディアを通して収集している。</li> <li>・情報を主体的に選択活用できているか。</li> <li>・課題などを追究し考察した過程や結果を適切に表現できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査（論述問題）</li> <li>・統計・グラフの選択と読み取り、活用</li> <li>・資料を用いた発表</li> <li>・レポート及び課題プリント</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査及び小テスト</li> <li>・授業中の発表と内容</li> <li>・各種プリントやノートの内容</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法  第2章 現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権保障や法の支配など、民主政治の原理やその発展について理解し、民主政治の在り方について考察する。</li> <li>・日本国憲法の成立過程や、基本原則について理解するとともに現代の社会における課題について考察する。</li> <li>・国会、内閣、裁判所などの政治機構について理解を深め、日本の政治機構の課題について考察する。</li> <li>・「民主主義の学校」といわれる地方自治の意義と問題を理解し、今後の地方自治の在り方について考察する。</li> <li>・日本の選挙制度について理解を深め、自発的に政治に参加する意識を養う。</li> <li>・国際政治のしくみを理解し、国際社会における日本の役割を考察し、国際社会の一員としての態度を養う。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質  第2章 国民経済と国際経済 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義経済と社会主義経済の特徴やその変容を理解する。</li> <li>・市場経済の機能を理解し、景気の変動、財政の役割について理解を深め、現代社会の経済の動きを考察する。</li> <li>・日本経済の特質を理解し、日本経済の問題を考察する。</li> <li>・国際経済のしくみや国際分業、国際経済機関の役割について理解を深め、国際経済における日本の役割を考察する。</li> <li>・大きな政府と小さな政府、少子高齢化と社会保障、住民生活と地方自治、食料問題、環境問題、消費者保護、労働問題等の現代の諸課題を追究し、多様な角度から望ましい解決の在り方を考察する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題、核兵器と軍縮、人種・民族問題、経済摩擦と外交、南北問題、国際社会における日本の役割等の国際社会の政治や経済の諸課題について追究し、国際社会における日本の役割について深く考察する。</li> </ul>			実施なし

科目名	数 学 I	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書 ・ 副教材	新 高校の数学 I (数研出版) ポイントノート数学 I (数研出版)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取組</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算  第2節 1次不等式  第4章 集合と論理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で学んだ基本事項の復習と基礎計算を中心にした問題演習を行い、学習内容の定着を確認する。</li> <li>・整式の加法、減法の計算ができるようにする。</li> <li>・式を、1つの文字に着目して整理したり、置き換えたりするなどして、既に学習した方法と関連付けて処理できるようにする。</li> <li>・新たな因数分解公式を加えて、因数分解を自在に使いこなせるようにする。</li> <li>・数の体系についての理解を深め、簡単な無理数の計算ができるようにする。</li> <li>・数量の間の大小関係や不等式の性質を理解して、1次不等式の解き方を習得する。</li> <li>・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
2 学 期	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ  第2節 2次関数の値の変化  第3章 図形と計量 第1節 三角比	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに関連しながら変化するものとしての関数の概念や関数の定義域・値域を理解する。</li> <li>・2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、グラフをかけるようにする。</li> <li>・2次関数の値の変化について理解する。</li> <li>・2次方程式の解とグラフの関係を理解し、グラフを用いて2次不等式を解けるようにする。</li> <li>・三角比としてのタンジェント、サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺と角の間の基本的な関係を使えるようにする。</li> <li>・座標を用いた鈍角の三角比の求め方を理解する。</li> <li>・日常の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決できるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
3 学 期	第2節 三角比の応用  第5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の三角形の辺と角との間に成立する三角形の面積の公式と、正弦定理、余弦定理を導き、それらを活用できるようにする。</li> <li>・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。</li> </ul>			学年末

科目名	数学Ⅰ・A	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 1年2組
学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅰ (数研出版) 新編 数学A (数研出版) Study-Upノート 数学Ⅰ+A (数研出版)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	[数学Ⅰ] 第1章 数と式 式の計算 実数 1次不等式  第2章 集合と命題  第3章 2次関数 2次関数とグラフ 2次関数の値と変化 2次方程式と2次不等式		・式を、目的に応じて1つの文字に着目したり置き換えたりして、既に学習した計算の方法と関連付けて多面的に捉えたり適切に変形できるようにする。数の体系についての理解を深め、不等式の性質を理解して1次不等式を解く方法を考察する。  ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。  ・2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察、2次方程式や2次不等式を解くことなどに活用できるようにする。		中間・期末
2 学 期	[数学A] 第1章 場合の数と確率 場合の数 確率  [数学Ⅰ] 第5章 データの分析  [数学A] 第2章 図形の性質 平面図形 空間図形		・数え上げの原則や、順列・組合せ及びその総数の求め方について理解する。また、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。  ・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。  ・三角形や円などの基本的な平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、図形の見方を豊かにするとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。		中間・期末
3 学 期	[数学Ⅰ] 第4章 図形と計量 三角比 三角形への応用		・直角三角形における三角比の意味、それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。		学年末



科目名	数学A	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		教科書・副教材等	新高校の数学A (数研出版) ポイントノート数学A (数研出版)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取組</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数  第2節 確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができるようにする。</li> <li>・場合の数に関して成り立つ和の法則・積の法則を正しく用いることができるようにする。</li> <li>・順列と組合せの意味を理解し、場合の数を求めることができるようにする。</li> <li>・確率についての基本的な性質を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができるようにする。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形  第2節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立な試行の意味を具体例を通して理解し、反復試行の確率を組合せの公式を活用して求めることができるようにする。また、条件付き確率や期待値について理解し、求めることができるようにする</li> <li>・角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心、弧、弦、円周角、中心角などの性質を理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができるようにする。</li> <li>・円に内接する四角形の性質及び四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質、方べきの定理及び二つの円の位置関係などを扱い、これらを図形の性質の考察に活用できるようにする。</li> <li>・中学校で学んだ基本的な作図を行うことができ、それをもとに円の接線が作図できるようにする。</li> <li>・中学校での学習内容を踏まえ、2直線、2平面の位置関係や直線と平面の位置関係を理解させ、角の大きさや関係性を求めることができるようにする。</li> <li>・多面体などに関する基本的な性質を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第3章 数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数の約数、倍数や素数に関する基礎的な事柄を扱い、それらを具体的な問題の解決に活用できるようにする。</li> <li>・最大公約数を求める方法としてユークリッドの互除法を理解させ、その有用性を認識させる。</li> <li>・2進法について理解させ、10進法との書き換えができるようにする。</li> <li>・地図上における特定の位置を座標の考えのように2つの要素で表したり、空間内にある点の位置を座標として読み取ることができるようにする。</li> </ul>			学年末

科目名	数 学 II	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 (選択) 普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	<p>いろいろな式、図形と方程式、および三角関数の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識させて、それらを活用する態度を育てる。</p>			教科書 ・ 副教材 等	<p>新編 数学II (数研出版)</p> <p>Study-Upノート 数学II (数研出版)</p>
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<p>基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	<p>各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取組</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	<p>第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明</p> <p>第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算や恒等式について理解できるようにする。</li> <li>・等式・不等式の証明を理解し、それを通して論証についての理解を深める。</li> <li>・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。</li> <li>・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	<p>第3章 図形と方程式 第1節 点と直線</p> <p>第2節 円</p> <p>第3節 軌跡と領域</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面上において、2点間の距離や線分の内分点、外分点、点相互の位置関係を考察することができるようにする。</li> <li>・いろいろな条件を満たす直線の方程式を求め、2直線の位置関係を傾きの関係でとらえることができるようにする。</li> <li>・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現して、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	<p>第4章 三角関数 第1節 三角関数</p> <p>第2節 加法定理</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。</li> <li>・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>		学年末

科目名	数学Ⅱ・B・C	単位数	6	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列および平面ベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅱ（数研出版） 新編 数学B（数研出版） 新編 数学C（数研出版） クリアー 数学Ⅱ+B（数研出版）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	[数学Ⅱ] 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式		・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算や恒等式、等式・不等式の証明について理解できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。 ・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。		中間・期末
2 学 期	[数学C] 第1章 平面上のベクトル  [数学Ⅱ] 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数  [数学B] 第1章 数列		・ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。  ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係、加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数と対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。  ・等差数列、等比数列などの基本的な数列について、一般項や和を求めたり、記号 $\Sigma$ の意味を理解しそれを用いたりできるようにする。また、いろいろな数列についても、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。		中間・期末
3 学 期	[数学Ⅱ] 第6章 微分法と積分法		・数列に関するこれらの考え方を基にして、漸化式と数学的帰納法について理解させる。  ・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。		学年末

科目名	数学Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択) 普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	指数・対数関数、微分・積分について、その概念や原理・法則の理解を深め、数学的活動を通して創造性の基礎を培い、事象を数学的に考察し、処理する能力や積極的に活用する態度を養う。	教科書・副教材等	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版) パラレルノート 数学Ⅱ (数研出版) 数学就職問題集 (浜島書店)		
評 価 規 準					
観 点	内 容			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組み</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・説明を聞く態度</li> <li>・身だしなみ</li> </ul>	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の仕方を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付ける。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	〔数学就職問題集〕 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
2 学 期	〔数学Ⅱ〕 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・累乗の意味を理解し、指数を自然数・整数・有理数・実数全体へと拡張できるようにする。</li> <li>・指数関数及び対数関数の定義を理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>・関数の平均変化率を考え、微分係数や導関数の定義を理解する。</li> <li>・グラフ上の点の傾きから導関数の符号により関数の増減を調べることができるようにする。</li> <li>・増減表を書いて、極大値・極小値、最大値・最小値を求めることができるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
3 学 期	第3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分の逆演算として不定積分の考え方を理解する。</li> <li>・積分の考え方をを用いて面積を求めることができるようにする。</li> </ul>			実施なし

科目名	数学Ⅲ	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂版 新編 数学Ⅲ (数研出版) Focus Z 数学Ⅲ (啓林館)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への取り組み</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>説明を聞く態度</li> <li>身だしなみ</li> </ul>	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>発問に対する応答</li> <li>定期考査</li> </ul>	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	第1章 複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数平面を用いて複素数を図示し、複素数の実数倍、和、差、積及び商の幾何学的な意味を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>簡単な分数関数及び無理関数を扱い、関数概念の理解を一層深める。簡単な関数を用いて合成関数、逆関数の意味を理解する。</li> <li>微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにする。</li> <li>「数学Ⅱ」で学習したことを発展し、和、差、積、商及び合成関数の微分法を扱い、多項式関数だけでなく、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解する。</li> <li>いろいろな関数について、関数値の増減やグラフの凹凸などの考察を通して、微分法の有用性を認識するとともに、微分法を速度・加速度などの考察にも活用できるようにする。</li> </ul>			中間・期末
	第3章 関数				
	第4章 極限 数列の極限 関数の極限				
	第5章 微分法 導関数 いろいろな関数の導関数				
	第6章 微分法の応用 導関数の応用 いろいろな応用				
2 学 期	第2章 式と曲線 2次曲線 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> <li>幾何学的な定義に基づいて導き出された二次曲線の方程式とその概形について考察し、二次曲線の基本的な性質を理解する。また、曲線を表す式として媒介変数を用いた式や極方程式を理解し、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>積分の基本的な性質や置換積分法及び部分積分法について理解し、これらの方法に習熟するとともに、その有用性を認識し、図形の面積や立体の体積を求めることなどに活用できるようにする。</li> </ul>			中間・期末
	第7章 積分法とその応用 不定積分 定積分 積分法の応用				
3 学 期	発展学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> </ul>			実施なし

科目名	数学活用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割や有用性について理解させ、数学に対する興味・関心を高めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	数学活用 数学就職問題集 (実教出版) (増進堂)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組み</li> <li>・ノートのとめ方</li> <li>・説明を聞く態度</li> <li>・身だしなみ</li> </ul>	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
数学的な技能	事象を数理的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数理的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	〔数学就職問題集〕 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	〔数学活用〕 1章 身の回りの数学 1節 いろいろな場合の数 2節 身の回りの図形 3節 数学的な表現のくふう 2章 社会生活と数学 1節 経済と数学 2節 測定と数学 3節 コンピュータと人間の活動 3章 数学の発展と人間の活動 1節 数と人間 2節 図形と人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのいろいろなところで数学が関係していることを理解する。</li> <li>・図、表、行列などを用いて、事象を数理的に表現ができるようにする。</li> <li>・社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察するとともに、それらの活動を通して数学の社会的有用性についての認識を深める。</li> <li>・人間の文化史とのかかわりの中から生まれてきた数学の基礎的な概念として、数と図形の話題を取り上げ、数学に対する興味・関心が高まるようにする。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	3節 数学と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学と人間がどのように関わって発展してきたかを理解する。</li> </ul>			実施なし

科目名	数学探究	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bにおける基本的な概念や原理・法則の理解を更に深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。多面的にもものを見る力や論理的に考える力を育成するとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	自作数学問題 チャート式大学入試共通テスト対策数学Ⅰ・A・Ⅱ・B (数研出版)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への取り組み</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>説明を聞く態度</li> <li>身だしなみ</li> </ul>	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>発問に対する応答</li> <li>定期考査</li> </ul>	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	基礎編		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的内容について確認するとともに、演習を通して基本的解法の習熟を図る。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	標準編		<ul style="list-style-type: none"> <li>標準問題・頻出問題を解くことにより、事象を数学的に処理する能力を高める。</li> </ul>		
2 学 期	標準編		<ul style="list-style-type: none"> <li>標準問題・頻出問題を解くことにより、事象を数学的に処理する能力を高める。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	応用編		<ul style="list-style-type: none"> <li>総合問題などを解くことにより、多面的にもものを見る力や論理的に考える力を育成する。</li> </ul>		
	実戦編		<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> </ul>		
3 学 期	実戦編		<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> </ul>		実 施 な し

科目名	科学と人間生活	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	<p>1 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術と人間生活とのかかわりについての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付け、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。</p> <p>2 自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	教科書・副教材等	高等学校 科学と人間生活 (啓林館)	高等学校 科学と人間生活の学習ノート (啓林館)	
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	・自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。			・定期考査 ・問題プリント ・実験レポート ・ノート	
思考・判断・表現	・人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。			・ノート ・定期考査 ・ワークシート ・実験レポート (考察)	
主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。			・ノート ・実験レポート ・発表の内容 ・実験への取り組み ・課題の提出状況	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	<p>序章 科学技術の発展</p> <p>第1部 生命の科学</p> <p>第1章 ヒトの生命現象</p> <p>第2章 微生物とその利用</p>	<p>・科学技術の進歩・発展を、通信・医療・交通技術を例にして、人間生活に果たしてきた役割を学ぶ。</p> <p>・タンパク質と遺伝子、ヒトの視覚と光、血糖濃度の調節、免疫について学び、ヒトの生命現象について理解する。</p> <p>・生態系における微生物のはたらき、微生物と人間の食生活・医学とのかかわりについて学び、微生物が生態系や人間生活とどのようにかかわっているかについて理解する。</p>			中間・期末
2 学期	<p>第2部 物質の科学</p> <p>第1章 材料とその利用</p> <p>第2章 衣料と食品</p> <p>第3部 光や熱の科学</p> <p>第1章 光の性質とその利用</p> <p>第2章 熱の性質とその利用</p>	<p>・プラスチック、金属、セラミックスが、それぞれの材料の特徴を生かして、身のまわりのさまざまなところに利用されていることを学び、物質の種類、性質および用途や、資源の再利用について理解する。</p> <p>・衣料、染料、洗剤、食品などについて学び、その性質や利用のしかたについて化学の観点から理解する。</p> <p>・光の波としての分類や性質、電磁波について学び、どのように利用されているかについて理解する。</p> <p>・熱の性質とその利用、エネルギーについて学び、エネルギーの移り変わりなどについて理解する。</p>			中間・期末
3 学期	<p>第4部 宇宙や地球の科学</p> <p>第1章 太陽と地球</p> <p>第2章 自然景観と自然災害</p> <p>終章 これからの科学と人間生活</p>	<p>・太陽や月の構造や見え方や、これらの身近な天体が引き起こす潮汐や大気の運動について学び、太陽や月が地球の大気や海洋、人間生活におよぼす影響を理解する。</p> <p>・地球の活動と、人間と自然のかかわりを学び、身近な自然景観とその変化、自然災害について、地域の特性や地球内部のエネルギーによる変動と関連づけて理解する。</p> <p>・第1部から第4部で選択した学習内容を踏まえ、生徒の興味・関心等に応じて、自然や科学技術に関連した課題を設定し考察させる。</p>			学年末



科目名	化学基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 1年2組
学習の到達目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			教科書・副教材等	高等学校 化学基礎 (啓林館) 化学基礎の徹底演習ドリル (啓林館)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> <li>観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>問題プリント</li> <li>実験レポート</li> <li>ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実験レポート (考察)</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。</li> <li>自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>実験レポート</li> <li>発表の内容</li> <li>実験への取り組み</li> <li>課題の提出状況</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	序章 科学の特徴 第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物質の性質を調べることを通して、化学の特徴を学ぶ。</li> <li>物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化について学ぶ。</li> <li>原子の構造、とりわけ電子配置と原子の性質との関係性を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	第3章 化学結合 第2部 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子の電子配置と関係が深い3種の化学結合について学ぶ。</li> <li>原子や分子の質量の相対質量による表し方、物質を粒子の数で表す「物質」とその単位mol、化学変化における物質の量的関係を表す方法などについて学ぶ。</li> <li>酸と塩基の性質や中和反応について学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	第3章 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な化学反応の1つである酸化還元反応の仕組みや利用例について学ぶ。</li> </ul>			学年末

科目名	化学基礎	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組(選択)
学習の到達目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			教科書・副教材等	新編化学基礎 (東京書籍) ニューアチーブ 化学基礎 (東京書籍)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> <li>観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>問題プリント</li> <li>実験レポート</li> <li>ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、科学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実験レポート(考察)</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。</li> <li>自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>実験レポート</li> <li>発表の内容</li> <li>実験への取り組み</li> <li>課題の提出状況</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	序章 科学の特徴 第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物質の性質を調べることを通して、化学の特徴を学ぶ。</li> <li>物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化について学ぶ。</li> <li>原子の構造、とりわけ電子配置と原子の性質との関係性を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	第3章 化学結合 第2部 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子の電子配置と関係が深い3種の化学結合について学ぶ。</li> <li>原子や分子の質量の相対質量による表し方、物質を粒子の数で表す「物質」とその単位mol、化学変化における物質の量的関係を表す方法などについて学ぶ。</li> <li>酸と塩基の性質や中和反応について学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	第3章 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な化学反応の1つである酸化還元反応の仕組みや利用例について学ぶ。</li> </ul>			学年末

科目名	生物基礎	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 2 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。 3 生物学的に探究する能力と態度を育てる。	教科書・副教材等	新編生物基礎 (東京書籍) Navi&トレーニング 生物基礎 (啓林館)		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けることができる。</li> <li>生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>問題プリント</li> <li>実験レポート</li> <li>ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実験レポート (考察)</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとする態度を身に付けることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>実験レポート</li> <li>発表の内容</li> <li>実験への取り組み</li> <li>課題の提出状況</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 細胞とエネルギー  2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質の合成	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。その際、呼吸と光合成の概要を学ぶ。</li> <li>DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解する。</li> <li>DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解する。</li> <li>さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ  2章 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>体液濃度の調節により、体内環境が保たれていることを理解させる。その際、血液凝固や腎臓の塩類濃度調節について学ぶ。</li> <li>ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。</li> <li>細胞が病原体の侵入を防ぐために、異物を認識し、排除するしくみを理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移  2章 生態系と生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解する。</li> <li>気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解する。</li> <li>生態系において物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを理解する。</li> <li>生態系のバランスについて理解する。</li> </ul>			学年末

科目名	物理基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。			教科書・副教材等	物理基礎 (数研出版) リードα 物理基礎・物理 (数研出版)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けることができる。</li> <li>物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>問題プリント</li> <li>実験レポート</li> <li>ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実験レポート (考察)</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする態度を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>実験レポート</li> <li>発表の内容</li> <li>実験への取り組み</li> <li>課題の提出状況</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容		学習のねらい		考査
1 学期	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則 第3章 仕事と力学的エネルギー		<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の表し方について、日常に起こる物体の運動を観察、実験を通して取り扱い、物理学的に探究する能力と態度を養う。</li> <li>身近な物体に働く力を見だし、その役割を理解する。</li> <li>力学的エネルギーについて、仕事と関連付けながら、力学的エネルギーの保存について理解する。</li> </ul>		中間・期末
2 学期	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音		<ul style="list-style-type: none"> <li>熱現象とエネルギーの関係を扱うための基礎として、熱運動と温度の関係、熱と仕事の変換などを理解する。</li> <li>音に限らず身の回りには多くの波動現象が存在することに気付かせ、波の現象についての基本的な性質や表し方を、直線状に伝わる波を通して理解する。</li> </ul>		中間・期末
3 学期	第4編 電気 第1章 物質と電気 第2章 磁場と交流 第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>物質により抵抗率が異なることや日常生活での交流の利用などを理解する。</li> <li>人類が利用可能な様々なエネルギーの特性や利用などについて物理学的な視点から総合的に理解する。</li> </ul>		学年末

科目名	化学	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する	教科書・副教材等	高等学校 化学 (啓林館) セミナー化学基礎+化学 (第一学習社) 化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> <li>観察、実験を通して、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>問題プリント</li> <li>実験レポート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、科学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実験レポート (考察)</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。</li> <li>自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実験レポート</li> <li>発表の内容</li> <li>実験への取り組み</li> <li>課題の提出状況</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第2部 物質の変化と平衡 第1章 化学反応と熱・光エネルギー 第2章 化学反応と電気エネルギー 第1部 物質の状態 第1章 固体の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気分解について、電気エネルギーが化学エネルギーに変換されることや電池についての化学エネルギーを電気エネルギーに変換して取り出す仕組みであることを理解する。</li> <li>化学反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差が熱で光の発生や吸収で現れることやエネルギーの出入りが熱化学方程式で表せることを理解する。</li> <li>固体の結晶格子の概念と結晶の構造について理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第2章 物質の状態変化 第3章 気体の性質 第4章 溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の状態変化や気体の性質の構造について、実験などを通して、物質の状態とその変化を理解する。</li> <li>溶解、溶解平衡及び溶液の性質について、実験などを通して、溶解平衡と溶液の性質を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第2部 物質の変化と平衡 第3章 反応速度 第4章 化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> <li>反応速度が単位時間内に変化する物質の量で表されることや、反応速度が濃度、温度、触媒などの影響を受けて変わること理解する。</li> <li>可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動について理解する。</li> </ul>			学年末

科目名	生物基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 2 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。 3 生物学的に探究する能力と態度を育てる。	教科書・副教材等	高等学校 生物基礎 (啓林館) Navi&トレーニング 生物基礎 (啓林館)		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けることができる。</li> <li>生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>問題プリント</li> <li>実験レポート</li> <li>ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実験レポート (考察)</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとする態度を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>実験レポート</li> <li>発表の内容</li> <li>実験への取り組み</li> <li>課題の提出状況</li> </ul>	
学習計画					
学習内容			学習のねらい		考査
1 学期	第1部 生物の特徴 第1章 生物の特徴		<ul style="list-style-type: none"> <li>生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。その際、呼吸と光合成の概要を学ぶ。</li> </ul>		中間・期末
	第2部 遺伝子とその働き 第2章 遺伝子とその働き		<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解する。</li> <li>DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解する。</li> <li>さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。</li> </ul>		
2 学期	第3部 ヒトの体の調節 第3章 神経系と内分泌系による調節		<ul style="list-style-type: none"> <li>体液濃度の調節により、体内環境が保たれていることを理解させる。その際、血液凝固や腎臓の塩類濃度調節について学ぶ。</li> <li>ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。</li> <li>細胞が病原体の侵入を防ぐために、異物を認識し、排除するしくみを理解する。</li> </ul>		中間・期末
	第4章 免疫				
3 学期	第4部 生物の多様性と生態系 第5章 植生と遷移		<ul style="list-style-type: none"> <li>植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解する。</li> <li>気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解する。</li> <li>生態系において物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを理解する。</li> <li>生態系のバランスについて理解する。</li> </ul>		学年末
	第6章 生態系とその保全				

科目名	地学基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。	教科書・副教材等		高等学校 地学基礎 (啓林館) Navi&トレーニング 地学基礎 (啓林館)	
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>問題プリント</li> <li>実験レポート</li> <li>ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実験レポート (考察)</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとする態度が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>実験レポート</li> <li>発表の内容</li> <li>実験への取り組み</li> <li>課題の提出状況</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 第2章 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動する地球に関する探究活動により、その学習内容の理解を深め、地学的に探究する能力を高める。</li> <li>地球の概観について学び、その内部構造について理解する。</li> <li>火山活動と地震の発生の仕組みについて理解する。</li> <li>プレートと地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について学ぶ。</li> <li>大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解する。</li> </ul>			中間・ 期末
	第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について理解する。</li> <li>太陽系の誕生について理解させ、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体についても理解する。</li> <li>先カンブリア時代や顕生代について理解させ、古生物の変遷と地球環境の変化について考察する。</li> <li>堆積岩とその形成や地層と地質構造についての学習を通して、地球の歴史の組み立てについて理解する。</li> <li>地層が形成される仕組みと地質構造について理解する。</li> </ul>			
2 学 期	第3章 日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について理解する。</li> <li>太陽系の誕生について理解させ、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体についても理解する。</li> <li>先カンブリア時代や顕生代について理解させ、古生物の変遷と地球環境の変化について考察する。</li> <li>堆積岩とその形成や地層と地質構造についての学習を通して、地球の歴史の組み立てについて理解する。</li> <li>地層が形成される仕組みと地質構造について理解する。</li> </ul>			中間・ 期末
	第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 第2章 地球と生命の進化 第3章 地球史の読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒星としての太陽の誕生と進化を理解する。</li> <li>銀河系とまわりの銀河についての学習から、宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。</li> <li>宇宙の誕生と地球の形成について観察、実験などを通して探究させ、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解する。</li> <li>地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災についての知識を身に付ける。</li> </ul>			
3 学 期	第4部 自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒星としての太陽の誕生と進化を理解する。</li> <li>銀河系とまわりの銀河についての学習から、宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。</li> <li>宇宙の誕生と地球の形成について観察、実験などを通して探究させ、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解する。</li> <li>地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災についての知識を身に付ける。</li> </ul>			学年 末

科目名	化学基礎	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択)
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。			教科書・副教材等	改訂 新編化学基礎 (東京書籍) ニューサポート 改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けることができる。			・実験に臨む意欲や態度 ・報告書の提出状況 ・授業ノート	
思考・判断・表現	・物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			・定期考査 ・ワークシート ・実験ノート (考察)	
観察・実験における技能	・物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			・実験の習熟度 ・実験データの処理 ・発表の方法	
知識・理解	・物質とその変化について、基本的な概念や原理を理解し、知識を身に付けている。			・問題集 ・実験ノート ・発表の内容	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	序章 化学と人間生活  1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素  2章 原子の構造と元素の周期表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学と人間生活のかかわりについて関心を高め、化学が人間生活に果たしている役割を理解するとともに、観察、実験などを通して物質を探究する方法の基礎を身に付ける。</li> <li>・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。</li> <li>・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	3章 化学結合  2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式  2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。</li> <li>・金属結合及び金属の性質を理解する。</li> <li>・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。</li> <li>・分子からなる物質の性質を理解する。</li> <li>・物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。</li> <li>・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。</li> <li>・酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	3章 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。</li> <li>・代表的な化学反応の1つである酸化還元反応の仕組みや利用例について学ぶ。</li> </ul>			実施なし



科目名	科学と人間生活	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	<p>1 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解する。</p> <p>2 科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高め、今後の科学と人間生活がどのように関わっていくべきかを考える。</p>	教科書・副教材等	科学と人間生活 (啓林館) 科学と人間生活の学習ノート (啓林館)		
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心を持ち、意欲的に探求しようとする。			・実験への取り組み ・課題の提出状況 ・ノート	
思考・判断・表現	・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見だし、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			・定期考査 ・ワークシート ・実験レポート (考察)	
観察・実験の技能	・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けている。			・実験の習熟度 ・実験データの処理 (計算、作図) ・発表の方法	
知識・理解	・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、観察、実験などを通して理解し、知識を身に付けている。			・問題プリント ・実験レポート ・発表の内容	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	序章 科学技術の発展 第1部 生命の科学 第1章 生物性と光 第2章 微生物とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術の進歩・発展を、情報・通信技術を例にして、人間生活に果たしてきた役割を学ぶ。</li> <li>・植物の育成と光、ヒトの視覚と光、動物の行動と光について学び、生物の活動と光との関係を理解する。</li> <li>・生態系における微生物のはたらき、微生物と人間生活について学び、微生物が生態系や人間生活とどのようにかかわっているかについて理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	第2部 物質の科学 第1章 食品と衣料 第2章 材料とその再利用 第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 第2章 熱の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品、衣料、染料、洗剤などについて学び、その性質や利用の仕方について化学の観点から理解する。</li> <li>・プラスチック、金属、セラミックスが、身の回りの様々なところに利用されていることを学び、物質の種類、性質および用途や、資源の再利用について理解する。</li> <li>・光の性質とその利用、電磁波について学び、どのように利用されているかを学習する。</li> <li>・熱の性質とその利用、エネルギーについて学び、エネルギーの移り変わりなどについて理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 身近な天体と太陽系における地球 第2章 自然景観と自然災害 終章 これからの科学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然景観の成り立ちや自然災害について、太陽放射や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて理解する。</li> <li>・身近に見られる天体と人間生活との関わりについて理解する。</li> <li>・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割を踏まえて、これからの科学と人間生活との関わり方について考察する。</li> </ul>			実施なし

科目名	物理	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		教科書・副教材等	改訂版 物理 (数研出版) 四訂版 リードα物理基礎・物理 (数研出版)	
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	・物理的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けることができる。			・学習活動の態度 ・実験や実習への取り組み ・授業ノート、訂正ノートの提出状況	
思考・判断・表現	・物理的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			・定期考査 ・章末問題テスト ・実験レポートの考察	
観察・実験における技能	・物理的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			・実験や実習の習熟度 ・実験データの処理 (計算やグラフ化など)	
知識・理解	・物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けることができる。			・章末問題テスト ・実験レポート ・発表の内容	
学習計画					
	学習内容		学習のねらい		考査
1 学期	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体 第3章 運動量の保存 第4章 円運動と万有引力 第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化		・運動とエネルギーについての基本的な見方や考え方に基づき、物体の運動を観察、実験などを通して探究し、力と運動に関する概念や原理・法則を系統的に理解し、それらを活用できるようにする。  ・気体分子の運動と圧力の関係や内部エネルギーについて気体の分子運動と関連付けて理解する。 ・気体の状態変化における熱、仕事及び内部エネルギーの関係を理解する。		中間・期末
2 学期	第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 第3章 光 第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波		・水面波、音、光などの波動現象を観察、実験などを通して探究し、共通する基本的な概念や法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。  ・電気や磁気に関する現象を観察、実験などを通して探究し、電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。		中間・期末
3 学期	第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核		・電子、原子及び原子核に関する現象を観察、実験などを通して、探究し、原子についての基本的な概念や原理・法則を理解する。		実施なし

科目名	化学	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			教科書・副教材等	化学 改訂版 (啓林館) セミナー化学基礎+化学 (数研出版) 化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	・化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。			・実験に臨む意欲や態度 ・報告書の提出状況 ・授業ノート	
思考・判断・表現	・化学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			・定期考査 ・ワークシート ・実験ノート (考察)	
観察・実験における技能	・化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			・実験の習熟度 ・実験データの処理 ・発表の方法	
知識・理解	・化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けることができる。			・問題集 ・実験ノート ・発表の内容	
学習計画					
	学習内容		学習のねらい		考査
1 学期	第3部 無機物質 第1章 周期表と元素の分類 第2章 非金属元素 第3章 典型金属元素 第4章 遷移元素 第5章 生活と無機物質		・典型元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。 ・遷移元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 ・無機物質が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解する。		中間・期末
2 学期	第4部 有機化合物 第1章 有機化合物の特徴と構造 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 酸素を含む脂肪族有機化合物 第4章 芳香族化合物 第5章 生活と有機化合物 第5部 高分子化合物 第1章 天然高分子化合物		・有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。 ・アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステルなどを取り上げ、それらの性質は炭素骨格及び官能基により特徴付けられることを理解する。 ・高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、理解する。		中間・期末
3 学期	第2章 合成高分子化合物 第3章 生活と高分子化合物		・合成高分子化合物や天然高分子化合物の特徴を理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。		実施なし

科目名	生物	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。			教科書・副教材等	生物 改訂版 (啓林館) セミナー生物基礎+生物 (第一学習社)
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	・生物学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。			・実験への取組 ・課題の提出状況 ・授業プリント	
思考・判断・表現	・生物学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			・定期考査 ・ワークシート ・実験プリント (考察)	
観察・実験における技能	・生物学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			・実験の習熟度 ・実験データの処理 ・発表の方法	
知識・理解	・生物学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けることができる。			・問題集 ・実験プリント ・発表の内容	
学習計画					
	学習内容		学習のねらい		考査
1 学期	第1部 生命現象と物質 第1章 生命と物質 第2章 代謝 第3章 遺伝現象と物質 第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖と染色体の分配 第2章 動物の生殖と発生 第3章 植物の生殖と発生		・生命現象を支える物質のはたらきについて観察・実験を通して探究し、タンパク質や核酸などの物質の働きを理解する。 ・生物の生殖や発生について、観察・実験を通して探究し、動植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解する。		中間・期末
2 学期	第3部 生物の環境応答 第1章 刺激の受容と反応 第2章 動物の行動 第3章 植物の環境応答 第4部 生物の進化と系統 第1章 生物の進化 第2章 進化とそのしくみ 第3章 生物の系統		・環境の変化に生物が反応していることについて観察・実験を通して探究し、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みについて理解する。 ・生物の個体群と群集及び生態系について観察・実験を通して探究し、それらの構造や変化の仕組みを理解する。 ・生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。		中間・期末
3 学期	第5部 生体と環境 第1章 個体群と生物群集 第2章 生態系		・生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について観察・実験を通して探究し、生物界の多様性と系統を理解する。		実施なし

科目名	理科探究活動	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	生物や生物現象、地学的な現象についての観察、実験や実習などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物的、地学的に探究する能力や態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	教科書・副教材等	生物基礎実験ノート・問題集 (高教研理科部会生物部門) 地学学習帳 (高教研理科部会地学部門) セミナー生物基礎 (第一学習社) セミナー地学基礎 (第一学習社)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	動植物や生体反応、自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究している。また、自然を総合的に捉える科学的態度を身に付けている。			・実験に臨む意欲や態度 ・報告書の提出状況 ・授業ノート	
思考・判断	・自然現象の中に問題を見出すことができる。 ・実験や観察を行い、分析的かつ総合的に考察することにより、問題を解決できる。			・定期考査 ・ワークシート ・実験ノート (考察)	
実験における技能・表現	・実験の技能を正しく習得できている。 ・実験の過程や結果、及びそこから導いた自らの考えを的確に表現することができる。			・実験の習熟度 ・実験データの処理 ・発表の方法	
知識・理解	地球規模のさまざまな事物・現象、または動植物についての観察、実験などを行い、それらの概念や原理、法則を理解し、知識を身に付けている。			・問題集 ・実験ノート ・発表の内容	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 生物の特徴 (1) 顕微鏡の使用法 (2) ミクロメーターによる計測 (3) 細胞の観察 (4) 原形質分離の観察 (5) 酵素カタラーゼのはたらき 問題演習 2 移り変わる地球 (1) 太平洋プレートの移動 (2) 兵庫県南部地震の震度分布 (3) 日本付近の震度分布 (4) 火山灰の観察 (5) 火成岩の分類 (6) 日本の火山	・顕微鏡観察の技術を習得する。 ・ミクロメーターの使用法を習得する。 ・生物体の構造と多様性を理解する。 ・原形質分離の起こる濃度を理解する。 ・酵素と無機触媒との違いを考察する。 ・問題演習を通して、知識の定着を図る。  ・太平洋プレートの移動について考える。 ・各地の揺れ方の違いについて考察する。 ・地震の震度分布から地下構造を推測する。 ・火山灰の観察から火山の性質を考察する。 ・密度を測定させ、岩石名を推定する。 ・火山の種類と構成岩石について考察する。			中間・期末
2 学 期	3 生物の多様性と生態系 (1) 植物群落の調査－方形わく法－ (2) 土壌動物の調査 (3) 川の汚染の生物的診断 問題演習 4 大気と海洋 (1) 日射量の測定 (2) 雲の発生のモデル実験と過冷却水 (3) 天気の変化 (4) 海水の塩分濃度と緯度別蒸発量の関係 問題演習	・植物群落を構成する植物と環境との関係を考える。 ・土壌生物と環境との関わりを考察する。 ・河川の汚染と人間の生活活動との関係を考える。 ・問題演習を通して知識の定着を図る。  ・簡易日射計を用いて日射量を計測する。 ・雲の発生と消滅のメカニズム、過冷却水について理解する。 ・日本付近の気圧配置の変化を調べる。 ・地表付近の風系が、海水の塩分濃度に与える影響を理解する。 ・問題演習を通して知識の定着を図る。			中間・期末
3 学 期	5 生物の体内環境とその維持 (1) 血球の観察 (2) 白血球による食作用の観察 問題演習	・血液を構成する細胞を観察する。 ・観察を通して生体防御の仕組みを理解する。 ・問題演習を通して知識の定着を図る。			実施なし

科目名	体育	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科1年1組、普通科1年2組	
学習の到達目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの技能を身に付ける。 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、思考、判断し、自己や仲間の考えを他者に伝える力を養う。 3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にする意欲や、継続して運動に親しむ態度を養う。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 現代高等保健体育ノート (大修館書店)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</li> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きや技、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫したり、考えを他者に伝えたりする。</li> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察 (個人練習およびグループ活動の様子)</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に取り組むことができる。</li> <li>・フェアなプレイを大切にしようとしたり、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしたりする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察 (試合中の様子および審判法)</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考 査
1 学期	1 体育の学習について 2 体育理論 3 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校における「保健体育」の特性や意義・内容・評価の方法を理解し、現代社会におけるスポーツの意義や必要性、スポーツライフの設計と実践についての理解を深める。</li> <li>・集団行動の意義や行い方を理解する。</li> <li>・自己の体力や能力の特徴を把握し、合理的な練習を通して課題解決を図り、記録の向上や相手との競争の喜びや楽しさを味わうことができるようにする。 (体操・ダンス)</li> <li>・リズムの取り方や動き方、相手との対応の仕方などを工夫して踊りを楽しみ、他者と交流することができるようにする。 (球技)</li> </ul>				実施なし
2 学期	1 体操・ダンス 2 球技・武道(選択) バスケットボール バレーボール テニス ハンドボール 柔道・剣道 3 陸上競技(中長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能に応じた攻め方・守り方とルールを工夫して練習やゲームができるようにする。</li> <li>・攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。</li> <li>・互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。 (武道)</li> <li>・日本古来の伝統的な行動を重視した運動としての特性を理解し自己の能力に応じた技を習得して相手の動きに対応した攻防ができるようにする。また、相手を尊重する態度・自己制御の大切さなどについて学習する。 (陸上競技)</li> </ul>				実施なし
3 学期	球技・武道(選択) ハンドボール サッカー バスケットボール バレーボール 柔道・剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。</li> <li>・動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。 (体育理論)</li> <li>・スポーツの変容や我が国から世界に発展したスポーツがあること、スポーツが国際親善や世界平和、共生社会の実現に貢献していること、スポーツには経済的な波及効果があることや持続可能なスポーツの推進には環境や社会への影響を考慮する必要があることを理解する。</li> </ul>				実施なし

科目名	体育	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科2年1組、普通科2年2組	
学習の到達目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの技能を身に付ける。 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、思考、判断し、自己や仲間の考えを他者に伝える力を養う。 3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にする意欲や、継続して運動に親しむ態度を養う。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 現代高等保健体育ノート (大修館書店)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</li> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きや技、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫したり、考えを他者に伝えたりする。</li> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察 (個人練習およびグループ活動の様子)</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に取り組むことができる。</li> <li>・フェアなプレイを大切にしようとしたり、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしたりする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察 (試合中の様子および審判法)</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考 査
1 学期	1 体育の学習について 2 体育理論 3 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校における「保健体育」の特性や意義・内容・評価の方法を理解し、現代社会におけるスポーツの意義や必要性、スポーツライフの設計と実践についての理解を深める。</li> <li>・集団行動の意義や行い方を理解する。</li> <li>・自己の体力や能力の特徴を把握し、合理的な練習を通して課題解決を図り、記録の向上や相手との競争の喜びや楽しさを味わうことができるようにする。 (体操・ダンス)</li> <li>・リズムの取り方や動き方、相手との対応の仕方などを工夫して踊りを楽しみ、他者と交流することができるようにする。 (球技)</li> </ul>				実施なし
2 学期	1 体操・ダンス 2 球技・武道(選択) バスケットボール バレーボール テニス ハンドボール 柔道・剣道 3 陸上競技(中長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能に応じた攻め方・守り方とルールを工夫して練習やゲームができるようにする。</li> <li>・攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。</li> <li>・互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。 (武道)</li> <li>・日本古来の伝統的な行動を重視した運動としての特性を理解し自己の能力に応じた技を習得して相手の動きに対応した攻防ができるようにする。また、相手を尊重する態度・自己制御の大切さなどについて学習する。 (陸上競技)</li> </ul>				実施なし
3 学期	球技・武道(選択) ハンドボール サッカー バスケットボール バレーボール 柔道・剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。</li> <li>・動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。 (体育理論)</li> <li>・スポーツの変容や我が国から世界に発展したスポーツがあること、スポーツが国際親善や世界平和、共生社会の実現に貢献していること、スポーツには経済的な波及効果があることや持続可能なスポーツの推進には環境や社会への影響を考慮する必要があることを理解する。</li> </ul>				実施なし

科目名	体育	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科3年1組、普通科3年2組	
学習の到達目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を習得したり、高めたりして、運動の楽しさや喜びを体験する。 2 体の調子を整えたり、仲間との交流を自主的・計画的・積極的に育成したりする資質を身に付ける。 3 公正・協力・責任などの社会的な態度を育て、健康・安全に留意し生涯を通じて継続的に運動できる能力や態度を育成する。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート 改訂版 (大修館書店)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康安全に留意し互いを尊重して練習や試合を自主的に行うとともに、公正な態度が取れるようにしている。</li> <li>互いに協力し、自己に適した楽しみ方ができるよう積極的に取り組もうとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>参加意欲の観察</li> <li>活動状況の観察</li> </ul>		
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>特性に応じた動きを選択し工夫して練習を行い、互いの動きを評価しようとしている。</li> <li>全員が楽しめるようにルールを工夫し、アイデアを出し合って学習を進めている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況の観察</li> </ul>		
技 能	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームで役立つチーム練習や戦術を、他者と協力して高めようと工夫している。</li> <li>集団的、個人的技能を活用し、学習段階に応じた作戦を立てゲームに取り組もうとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況の観察</li> <li>スキルテストや記録会の結果の分析</li> </ul>		
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに練習計画を立てたり、試合の運営をしたりしている。</li> <li>個々の能力に応じた課題やチーム課題の解決を目指して、計画的な練習や試合をしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの中の審判等の実施状況の観察</li> <li>理解状況の観察</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考 査
1 学期	1 体育の学習について 2 体育理論 3 体づくり運動 4 球技(選択) サッカー ソフトボール バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会におけるスポーツの意義や必要性、スポーツライフの設計と実践についての理解を深める。</li> <li>集団行動の意義や行い方を理解する。</li> <li>自己の体力や生活に応じた体づくりを行うことができるように体づくり運動を計画的に実践していく方法を学習する。(球技)</li> <li>技能に応じた攻め方・守り方とルールを工夫して練習やゲームができるようにする。</li> <li>攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。</li> </ul>			実施なし
2 学期	1 体操・ダンス 2 球技(選択) サッカー バスケットボール バレーボール テニス バドミントン 卓球 3 陸上競技(中長距離走)		<ul style="list-style-type: none"> <li>互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。(体操・ダンス)</li> <li>体を動かす楽しさや心地よさを味わい、精神的なストレスを解消し体と心の安定を図る。</li> <li>他者と協力してリズムの取り方や動き方などを工夫して創作し、踊りを楽しみ、交流することができるようにする。(陸上競技)</li> </ul>			実施なし
3 学期	球技(選択) サッカー バスケットボール バレーボール テニス バドミントン 卓球		<ul style="list-style-type: none"> <li>自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。</li> <li>動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。(体育理論)</li> <li>各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツへのかかわり方の特徴や条件があることや、それらの特徴や条件に応じて無理なく計画を立てること、生涯スポーツの実践を支える環境を確保するためのスポーツ振興に向けた施策や条件、スポーツが環境に及ぼす影響に配慮する必要があることについて理解する。</li> </ul>			実施なし



科目名	スポーツⅡ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科3年2組（選択）	
学習の到達目標	1 各種の運動の特性について理解し、自己の能力に適した目標や課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して基本的な技能を高める。 2 運動におけるマナーや各種の競技規則を守り、公正・協力・責任などの社会的な態度や安全に練習する態度を育成する。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート (大修館書店)	
評価						
観点	評価規準			方法		
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約束や決まりを守り、健康安全に留意して進んで楽しく運動している。</li> <li>・互いに協力し、自己に適した楽しみ方ができるよう、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加意欲の観察</li> <li>・活動状況の観察</li> </ul>		
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの動きを評価している。</li> <li>・互いに協力して練習やゲームをしている。</li> <li>・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況の観察</li> </ul>		
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の技能を、できるものから、さらに高いものへと発展させている。</li> <li>・個人的技能を活用して、学習段階に応じた計画を立て、練習に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況の観察</li> <li>・スキルテストやゲームの結果の分析</li> </ul>		
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習やゲームの仕方を工夫している。</li> <li>・マナーやルールを理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの中のマナー</li> <li>・ルールの把握</li> <li>・理解状況の観察</li> </ul>		
学習計画						
	学習内容	学習のねらい				考查
1学期	1 スポーツⅡの学習について 2 体づくり運動 3 球技（選択） （男子）ソフトボール ゴルフ （女子）テニス ゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校における「保健体育」の特性や意義・内容・評価の方法を理解し、現代社会におけるスポーツの意義や必要性、豊かなスポーツライフの設計と実践についての理解を深める。</li> <li>・運動を適切に行うための集団行動の意義や行い方を理解する。</li> <li>・自己の体力や能力の特徴を把握し、合理的な練習を通して課題解決を図り、記録の向上や相手との競争の喜びや楽しみを味わうことができるようにする。</li> </ul>				実施なし
2学期	球技（選択） （男子）バスケットボール バレーボール （女子）テニス ハンドボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。</li> <li>・互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。</li> <li>・種目の特性や基本的なルールを理解し、卒業後の生活の中でスポーツが実践できるように努める。</li> </ul>				実施なし
3学期	球技（選択） （男子）バスケットボール 卓球 サッカー （女子）バレーボール バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間通して活動してきたことをレポートにまとめてそれぞれ発表する。</li> </ul>				実施なし

科目名	保健	単位数	1	学科・学年・学級	森林環境科1年1組、普通科1年2組
学習の到達目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 現代高等保健体育ノート (大修館書店)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	・健康安全の意義を理解するとともに、課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、正しい知識を身に付けている。			・各学期末考査 ・ノート ・レポート内容 ・授業観察	
思考・判断・表現	・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向け、思考・判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えられる。			・ノート ・授業観察	
主体的に学習に取り組む態度	・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む学習に主体的に取り組もうとしている。			・レポート内容 ・授業観察 ・プレゼンテーション	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	1 現代社会と健康 (1)健康の考え方と成り立ち (2)私たちの健康のすがた (3)生活習慣病の予防と回復 (4)がんの原因と予防 (5)がんの治療と回復 (6)運動と健康 (7)食事と健康 (8)休養・睡眠と健康 (9)喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国において現代の健康課題がみられること、健康の考え方が変化してきていること、生活習慣病などの予防と回復には調和のとれた生活の実践とともに疾病の早期発見、治療及び社会的な対策が必要であること、喫煙は健康や社会に大きな影響を与えることから、個人への働きかけや社会環境への対策が必要であることを理解する。</li> <li>現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</li> </ul>			期 末
2 学 期	(10)飲酒と健康 (11)薬物乱用と健康 (12)精神疾患の特徴 (13)精神疾患の予防 (14)精神疾患からの回復 (15)現代の感染症 (16)感染症の予防 (17)性感染症・エイズとその予防 (18)健康に関する意思決定・行動選択 (19)健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進には健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりに関わること、感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られ、それに対応した対策が必要であること、飲酒、薬物乱用などは健康や社会に大きな影響を与えることから、個人への働きかけや社会環境への対策が必要であることを理解する。</li> <li>現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</li> </ul>			期 末
3 学 期	2 安全な社会生活 (1)事故の現状と発生要因 (2)安全な社会の形成 (3)交通における安全 (4)応急手当の意義とその基本 (5)日常的な応急手当 (6)心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な事故等の発生には人的要因や環境要因に関わること、交通事故などの防止には、周囲の環境などの把握や適切な行動が必要であること、安全な社会の形成には、個人の安全に関する資質の形成、環境の整備、地域の連携などが必要であることを理解する。</li> <li>心肺蘇生法を含む応急手当の技能を身に付ける。</li> <li>安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができる。</li> </ul>			学 年 末

科目名	保健	単位数	1	学科・学年・学級	森林環境科2年1組、普通科2年2組
学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 現代高等保健体育ノート (大修館書店)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	・健康安全の意義を理解するとともに、課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、正しい知識を身に付けている。			・各学期末考査 ・ノート ・レポート内容 ・授業観察	
思考・判断・表現	・習得した知識を日常生活にあてはめたりして、適切な行動選択や課題の解決方法を見つけることができる。			・ノート ・授業観察	
主体的に学習に取り組む態度	・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む学習に主体的に取り組もうとしている。			・レポート内容 ・授業観察 ・プレゼンテーション	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学期	3 生涯を通じる健康 (1) ライフステージと健康 (2) 思春期と健康 (3) 性意識と性行動の選択 (4) 妊娠・出産と健康 (5) 避妊法と人工妊娠中絶 (6) 結婚生活と健康 (7) 中高年期と健康 (8) 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における体の発達の特徴、行動面・心理面の特徴について学習する。</li> <li>・性意識の男女差を、性的欲求のあらわれ方の違いを例にして学習する。</li> <li>・結婚生活についての基本的な考え方や結婚生活が家庭の健康作りに大切な役割を担っていること、また受精・妊娠・出産の過程を学習する。</li> <li>・家族計画の意義や避妊法・人工妊娠中絶のリスクについて学習する。</li> <li>・加齢にともなう心身の変化について、また、中高年期を健やかに過ごすためにはどうしたらよいか、高齢者の生活と健康および高齢社会について、また保健行政のしくみなどについて学習する。</li> </ul>			期 末
2 学期	(9) 労働災害と健康 (10) 健康的な職業生活  4 健康を支える環境作り (1) 大気汚染と健康 (2) 水質汚濁、土壌汚染と健康 (3) 環境と健康にかかわる対策 (4) ごみの処理と上下水道の整備 (5) 食品の安全性 (6) 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人の健康問題や労働災害・職業病とその予防、心と体の健康作りに関して知識を持ち日常生活における取り組みについて学習する。</li> <li>・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染についての原因物質や、どのように健康に影響するのかなどについて学習する。</li> <li>・環境汚染による健康被害を防ぐためにはどうしたらよいか問題点を発見したり、解決方法を考えたりする。</li> <li>・ごみ処理の現状やその課題について説明できる。</li> <li>・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。</li> <li>・食品の安全性と食品衛生行政のしくみや衛生管理方法、食品の安全性を確保するためのさまざまな情報について正確な知識を身に付ける。</li> </ul>			期 末
3 学期	(7) 保健サービスとその活用 (8) 医療サービスとその活用 (9) 医薬品の制度とその活用 (10) さまざまな保健活動や社会的対策 (11) 健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保険および医療費について、しくみや内容について理解し、地域における保健・医療機関と福祉施設の連携や医療サービスの仕方について学習する。</li> <li>・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。</li> <li>・環境づくりへの主体的参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。</li> </ul>			学 年 末

科目名	音楽 I	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組	
学習の到達目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化への理解を深める。			教科書 ・ 副教材等	音楽 I Tutti+  (教育出版)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 歌唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌、ポピュラーソング</li> <li>・合唱</li> </ul> 2 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋音楽</li> <li>・さまざまな時代のピアノ曲を聴こう</li> </ul> 3 器楽 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トーンチャイム</li> <li>・リズムアンサンブル</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌の歴史や歌詞の意味等を理解し、歌えるようにする。</li> <li>・腹式呼吸と発声法を身に付け、のびやかな声で生き生きと表現できるようにする。</li> <li>・それぞれの時代背景や演奏形態、作曲者、楽曲の特徴などを学習し、そのよさや美しさを味わう。</li> <li>・トーンチャイム演奏を通して互いを理解しあう。</li> <li>・リズムアンサンブルの演奏を通してリズムに親しむとともに、アンサンブルの楽しさを知る。</li> </ul>		実施なし
2 学 期	1 歌唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歌曲を歌おう</li> <li>・合唱、アンサンブル</li> </ul> 2 創作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル・ミュージックを楽しもう</li> <li>・言葉を生かして旋律をつくろう</li> </ul> 3 器楽(ウクレレ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な奏法</li> <li>・弾き語り</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。</li> <li>・原語のもつ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。</li> <li>・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動しながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。</li> <li>・体の様々な部位を使って音色を工夫したり、構成を工夫したりしながら表したいイメージをもってテーブル・ミュージックを作り、演奏する。</li> <li>・抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特徴を感じ取り、自己のイメージをもって旋律をつくる。</li> <li>・楽器の奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏する楽しさを味わう。</li> </ul>		実施なし
3 学 期	1 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の音楽</li> <li>・物語と音楽との関わりに注目しよう</li> </ul> 2 歌唱 3 卒業式の練習			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の音楽について理解し、関心を持ちながら鑑賞する。</li> <li>・総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているかを考える。</li> <li>・総合芸術の魅力を歌唱を通して感じる。</li> <li>・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。</li> </ul>		実施なし

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 普通科 2年2組	
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化への理解を深める。			教科書・副教材等	MOUSA 2 (教育芸術社)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 歌唱 ・ポピュラーソング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみやすい曲を通して、発声などの技能を身に付け、表現を工夫して歌うとともに、主体的・協働的に学習に取り組む意欲を高める。</li> </ul>			実施なし	
	2 鑑賞 ・日本の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統音楽や郷土の芸能を鑑賞したり調べたりしながら、それぞれの特徴に対する理解を深め、魅力を味わう。</li> </ul>				
	3 器楽 ・トーンチャイム ・リズムアンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トーンチャイム演奏を通して互いを理解しあう。</li> <li>・リズムアンサンブルを通して奏法や表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。</li> </ul>				
2 学 期	1 歌唱 ・日本や諸外国の歌曲 ・ミュージカルナンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な言語の歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、表現を工夫して個性豊かに歌う。</li> </ul>			実施なし	
	2 創作 ・構成を工夫して作品を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成を工夫した作品づくりを通して、創作表現に必要な技能を身に付けるとともに、個性豊かな音楽作品をつくり出す面白さを体験する。</li> </ul>				
	3 器楽（ウクレレ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクレレの音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して、個性豊かに演奏する。</li> </ul>				
3 学 期	1 鑑賞 ・世界の諸民族の音楽 ・作曲家の生涯と作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸民族の音楽を、身振りを伴う表現に着目して鑑賞したり演奏したりしながら、その音楽や表現の特徴を理解する。</li> <li>・作曲家の生涯をたどり、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう。</li> </ul>			実施なし	
	2 歌唱 ・オペラに親しみ、アリアに挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う。</li> </ul>				
	3 器楽（ギター）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して、個性豊かに演奏する。</li> </ul>				

科目名	音楽Ⅲ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組(選択)
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。	教科書・副教材等		音楽Ⅲ 改訂版	(教育出版)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・活動状況</li> <li>・提出物</li> </ul>	
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>	
創造的な表現の技能	自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>	
鑑賞の能力	多様な音楽を理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、そのよさや美しさを創造的に味わっている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の感想</li> <li>・確認小テスト</li> <li>・レポート</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1	歌唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術歌曲</li> <li>・日本歌曲</li> <li>・混声合唱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の持つ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。</li> <li>・音楽文化について理解を深め、音楽と人間のかかわりについて考えながら表現する。</li> </ul>		実施なし
	2	器楽 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な奏法を習得する。</li> <li>・コード奏によるアンサンブルをする。</li> </ul>		
	3	鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の音楽</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラの楽器について、理解しそれぞれの音色の特徴に留意しながら鑑賞する。</li> </ul>		
2 学 期	1	鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の音楽</li> <li>・ミュージカル、オペラ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの時代背景や演奏形態、作曲者、楽曲の特徴などを学習し、そのよさや美しさを味わう。</li> <li>・劇音楽への興味、関心を高める。</li> </ul>		実施なし
	2	合唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・輪唱</li> <li>・混声合唱</li> <li>・芸術歌曲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動しながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。</li> <li>・曲想に応じた発声の工夫ができる。</li> <li>・楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。</li> </ul>		
	3	器楽 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トーンチャイム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トーンチャイムに興味を持ち、音色の美しさを感じながら演奏できるようにする。</li> <li>・音楽を協力して作り上げる楽しさを味わう。</li> </ul>		
3 学 期	1	合唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・混声合唱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想を感じ取りながら各声部の全体的な調和に関心を持ち、表情豊かに表現する。</li> </ul>		実施なし
	2	卒業式の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。</li> <li>・曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌う。</li> </ul>		

科目名	ソルフェージュ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)	
学習の到達目標	音楽の基礎的な知識や技術を習得する活動を通して、音楽の構成する諸要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための能力を養う。			教科書 ・ 副教材等	Music Navigation (教育出版)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・活動状況</li> <li>・提出物</li> </ul>		
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
創造的な表現の技能	音楽に対する自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況</li> <li>・実技テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>		
鑑賞の能力	多様な音楽を理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、そのよさや美しさを創造的に味わっている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の感想</li> <li>・確認小テスト</li> <li>・レポート</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 歌唱 ・芸術歌曲、童謡			・言語の持つ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。		実施なし
	2 器楽 ・ピアノ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連弾を通して、アンサンブルを楽しむ。</li> <li>・歌の伴奏ができるようにする。</li> </ul>		
	3 視唱 ・コールユーブンゲン ・コンコーネ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・視唱力を高め、楽譜を見て歌えるようにする。</li> <li>・正確な音程感を養い、歌唱の技術を高める。</li> </ul>		
	4 音楽理論 ・音名、音価、音程			<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜を様々な音名で読めるようにする。</li> <li>・音符や休符、音価、音程について理解する。</li> </ul>		
2 学 期	1 音楽理論 ・音階、和音			・音階や和音について理解し、聴音や視唱ができる基礎的能力を養う。		実施なし
	2 合唱 ・3部合唱			<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動をしながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。</li> <li>・曲想を感じ取りながら各声部の全体的な調和に関心を持ち、表現する。</li> </ul>		
	3 器楽 ・トーンチャイム ・ピアノ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・トーンチャイムに興味を持ち、音色の美しさを感じながら演奏できるようにする。</li> <li>・音楽を協力して作り上げる楽しさを味わう。</li> </ul>		
	4 歌唱 ・芸術歌曲			・楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。		
3 学 期	1 音楽理論 ・コードネーム			<ul style="list-style-type: none"> <li>・和音の種類やコードネームを理解する。</li> <li>・ピアノでコード伴奏ができるようにする。</li> </ul>		実施なし
	2 卒業式の練習			・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。		

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	1 日常的な話題について、多くの支援を活用すれば、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合うことができる。	教科書・副教材等	All Aboard! English Communication I (東京書籍) プレッピングリッシュ3訂版 (旺文社)		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	・英語運用に必要な文法事項や表現を理解している。 ・知識を基にして、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。			・課題テスト ・定期考査 ・課題の達成状況の記録	
思考・判断・表現	・必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。			・定期考査 ・言語活動の取り組み状況の観察	
主体的に学習に取り組む態度	・必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。			・発言、発表の内容 ・授業内の活動状況	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	Warm-Up 1,2,3 Pre-Lesson 1,2	・授業でよく使われる英語表現を学習する。 ・英語による自己紹介の仕方を学習する。アルファベット・be 動詞・一般動詞について復習する。			中間・ 期末
	Lesson 1 Breakfast around the World	・世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。現在形・過去形を学習する。			
	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	・オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。進行形を学習する。			
2 学期	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	・被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。助動詞を学習する。			中間・ 期末
	Lesson 4 A Miracle Mirror	・海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。to 不定詞について学習する。			
	Lesson 5 Learning from the Sea	・高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。動名詞を学習する。			
	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	・歌川国芳について読み、浮世絵と現代マンガの関連性について考える。受け身を学習する。			
3 学期	Lesson 7 A Diary of Hope	・アンネ・フランクの日記を紹介する授業を通して、生きることの意味を考える。比較表現を学習する。			学年 末
	Lesson 8 A Door to a New Life	・ロボットカフェの紹介を通して、ロボットの可能性について考える。現在完了形について学習する。			
	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	・環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。名詞を後ろから説明する分詞について学習する。			
	Lesson 10 Pigs from across the Sea	・沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人の交流について学習する。関係代名詞について学習する。			
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語 I」の単位数に3単位を加えることができる。					



科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 1年2組
学習の到達目標	<p>1 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読んだり聞いたりして、意図を把握したり、要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして、論理性を持って伝え合うことができる。</p>	教科書・副教材等	<b>Power On English Communication I</b> (東京書籍) 英語ターゲット 1400 5訂版 (旺文社)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語運用に必要な文法事項や表現を理解している。</li> <li>知識を基にして、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題テスト</li> <li>定期考査</li> <li>課題の達成状況の記録</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動の取り組み状況の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとして話したり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発言、発表の内容</li> <li>授業内の活動状況</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	Lesson 1 Japan's New Tourism	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介する ALT の話。時制、進行形、助動詞を学習する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 2 Light from Creatures	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表。受け身、現在完了形、現在完了進行形を学習する。</li> </ul>			
	Lesson 3 Routes to the Top	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツクライマーである野口選手のインタビュー。動名詞、不定詞を学習する。</li> </ul>			
2 学 期	Lesson 4 Left to Right, Right?	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表。後置修飾の現在分詞、過去分詞、比較級・最上級を学習する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 5 Banana Paper	<ul style="list-style-type: none"> <li>ザンビアのバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義。関係代名詞を学習する。</li> </ul>			
	Lesson 6 Patterns in Human Behavior	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事。that 節、様々な文型について学習する。</li> </ul>			
3 学 期	Lesson 7 No Plastic or No Future	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文。関係副詞について学習する。</li> </ul>			学年末
	Lesson 8 Oh My Cod!	<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリス人 ALT によるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表。分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界中の若者の間で人気が出てきている e スポーツの実況中継。知覚動詞、使役動詞について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事。仮定法について学習する。</li> </ul>			
<b>【技能審査の成果の単位認定】</b> ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語 I」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	論理・表現 I	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 1年2組
学習の到達目標	<p>1 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え、やり取りを通して必要な情報を得ることができる。</p> <p>2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。</p>	教科書・副教材等	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I (開隆堂) SEED総合英語[四訂新版] (文英堂)		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語運用に必要な文法事項や表現を理解している。</li> <li>知識を基にして、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題テスト</li> <li>定期考査</li> <li>課題の達成状況の記録</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動の取り組み状況の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発言、発表の内容</li> <li>授業内の活動状況</li> </ul>	
学習計画					
学習内容			学習のねらい		考査
1 学期	Lesson 1 My Hero		・あこがれの人について紹介する。現在形、過去形を学習する。		中間・期末
	Lesson 2 Weather Forecast for Tomorrow		・観光地での週末の予定を伝える。未来を表す表現を学習する。		
	Lesson 3 Tips on Visiting a Japanese Temple		・観光地での注意事項について発表する。助動詞を学習する。		
	Lesson 4 The Key to Learn Kanji		・これまで経験したことについて友人に尋ねたり、紹介したりする。完了形を学習する。		
2 学期	Lesson 5 Home-Made Bread		・好きな日本の食べ物について紹介する。受動態を学習する。		中間・期末
	Lesson 6 Guinness World Records		・ギネスブックに載せる内容の計画について紹介する。比較（比較級、最上級）について学習する。		
	Lesson 7 Japanese Bentos Are Cool!		・食品ロスを減らす方法についてグラフを使って発表する。比較（同等比較、倍数比較）について学習する。		
	Lesson 8 Ready for Disasters		・災害への備えや、発生時に必要なことを紹介する。動名詞、to不定詞（名詞的用法）について学習する。		
	Lesson 9 Useful Ads on the Internet		・留学先へのおみやげについて紹介する。to不定詞（形容詞的用法、副詞的用法）について学習する。		
	Lesson 10 Who's the Girl Walking with You?		・身の回りで起こったことについて、順序立てて説明する。分詞について学習する。		
3 学期	Lesson 11 Going on a Factory Tour!		・オリジナル製品のアイデアについて発表する。関係代名詞について学習する。		学年末
	Lesson 12 A Sightseeing Spot to recommend		・おすすめの観光地について説明する。関係副詞について学習する。		
	Lesson 13 If I Were Good at Cooking		・悩みについて話し合い、友だちに助言をする。仮定法について学習する。		
	Lesson 14 The Best Place for the Holiday		・春休みにいきたい場所について発表する。接続詞について学習する。		

科目名	論理・表現 I	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	<p>1 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え、やり取りを通して必要な情報を得ることができる。</p> <p>2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。</p>	教科書・副教材等	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I (開隆堂) プレッピングリッシュ3訂版 (旺文社)		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語運用に必要な文法事項や表現を理解している。</li> <li>知識を基にして、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題テスト</li> <li>定期考査</li> <li>課題の達成状況の記録</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動の取り組み状況の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発言、発表の内容</li> <li>授業内の活動状況</li> </ul>	
学習計画					
学習内容		学習のねらい			考査
1 学期	Lesson 1 My Hero	<ul style="list-style-type: none"> <li>あこがれの人について紹介する。現在形、過去形を学習する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 2 Weather Forecast for Tomorrow	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地での週末の予定を伝える。未来を表す表現を学習する。</li> </ul>			
	Lesson 3 Tips on Visiting a Japanese Temple	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地での注意事項について発表する。助動詞を学習する。</li> </ul>			
	Lesson 4 The Key to Learn Kanji	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで経験したことについて友人に尋ねたり、紹介したりする。完了形を学習する。</li> </ul>			
2 学期	Lesson 5 Home-Made Bread	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな日本の食べ物について紹介する。受動態を学習する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 6 Guinness World Records	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギネスブックに載せる内容の計画について紹介する。比較（比較級、最上級）について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 7 Japanese Bentos Are Cool!	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスを減らす方法についてグラフを使って発表する。比較（同等比較、倍数比較）について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 8 Ready for Disasters	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害への備えや、発生時に必要なことを紹介する。動名詞、to不定詞（名詞的用法）について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 9 Useful Ads on the Internet	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学先へのおみやげについて紹介する。to不定詞（形容詞的用法、副詞的用法）について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 10 Who's the Girl Walking with You?	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りで起こったことについて、順序立てて説明する。分詞について学習する。</li> </ul>			
3 学期	Lesson 11 Going on a Factory Tour!	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナル製品のアイデアについて発表する。関係代名詞について学習する。</li> </ul>			学年末
	Lesson 12 A Sightseeing Spot to recommend	<ul style="list-style-type: none"> <li>おすすめの観光地について説明する。関係副詞について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 13 If I Were Good at Cooking	<ul style="list-style-type: none"> <li>悩みについて話し合い、友だちに助言をする。仮定法について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 14 The Best Place for the Holiday	<ul style="list-style-type: none"> <li>春休みにいきたい場所について発表する。接続詞について学習する。</li> </ul>			

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科2年1組(選択) 普通科2年2組(選択)
学習の到達目標	<p>1 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読んだり聞いたりして、意図を把握したり、要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>2 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして、論理性を持って伝え合うことができる。</p>	教科書・副教材等		Power On English Communication II (東京書籍) 英語ターゲット 1400 5訂版 (旺文社)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語運用に必要な文法事項や表現を理解している。</li> <li>知識を基にして、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題テスト</li> <li>定期考査</li> <li>課題の達成状況の記録</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動の取り組み状況の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発言、発表の内容</li> <li>授業内の活動状況</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>Lesson 1 Play me, I'm Yours</p> <p>Lesson 2 Ethical Fashion</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストリートピアノについてのテレビレポートを読み、人と社会の関わりについて考える。助動詞+動詞の原形, 受け身, S+V [be 動詞以外] +C について学習する。</li> <li>現代のファッション業界についてのニュース記事を読み、ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。S+V【使役動詞・知覚動詞】+O+C【現在分詞・原形不定詞】について学習する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	<p>Lesson 3 One for All, All for One</p> <p>Lesson 4 Vending Machines</p> <p>Reading Going Home</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へのインタビューを読み、自分の好きな有名人について説明する。現在完了形, 過去完了形, 仮定法過去の if 節について学習する。</li> <li>日本の自動販売機, 海外の自動販売機についてのオンライン記事を読み、自分の考えを発表する。関係代名詞(主格), 関係代名詞の非制限用法, 関係代名詞(目的格)について学習する。</li> <li>1960年代のアメリカ合衆国で、長距離バスで旅する6人の若者たちが車中で知り合ったビンゴという男の物語を読み、感想を共有する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	<p>Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインのフォント, ブレイルノイエとその開発者の高橋鴻介氏へのインタビューについての雑誌記事を読み、ブレイルノイエの活用方法について考える。助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if 節], It seems [appears] + that 節について学習する。</li> </ul>			学年末
<p>【技能審査の成果の単位認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。</li> </ul>					

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	<p>1 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読んだり聞いたりして、意図を把握したり、要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>2 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして、論理性を持って伝え合うことができる。</p>	教科書・副教材等	Power On English Communication Ⅱ (東京書籍)	スクランブル英文法・語法 (旺文社)	
評価規準					
観点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語運用に必要な文法事項や表現を理解している。</li> <li>知識を基にして、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題テスト</li> <li>定期考査</li> <li>課題の達成状況の記録</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動の取り組み状況の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしていたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発言、発表の内容</li> <li>授業内の活動状況</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	Lesson 1 Play me, I'm Yours	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストリートピアノについてのテレビレポートを読み、人と社会の関わりについて考える。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 2 Ethical Fashion	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代のファッション業界についてのニュース記事を読み、ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。</li> </ul>			
	Lesson 3 One for All, All for One	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へのインタビューを読み、自分の好きな有名人について説明する。</li> </ul>			
2 学 期	Lesson 4 Vending Machines	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自動販売機、海外の自動販売機についてのオンライン記事を読み、自分の考えを発表する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインのフォント、ブレイルノイエとその開発者の高橋鴻介氏へのインタビューについての雑誌記事を読み、ブレイルノイエの活用方法について考える。</li> </ul>			
	Lesson 6 New Banknotes	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事を読み、意見を述べる。</li> </ul>			
	Lesson 7 Some Secrets about Colors	<ul style="list-style-type: none"> <li>色が私たちに与える影響や色のもつ心理的効果についての論説文を読み、要点をまとめる。</li> </ul>			
3 学 期	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	<ul style="list-style-type: none"> <li>小田兼利博士が開発した納豆パウダーの誕生秘話と世界へ広がる様子についての論説文を読み、発展途上国との関わりについて考える。</li> </ul>			学年末
	Lesson 9 Flying after Her Dreams	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記を読んで、女性の専門職就労について意見を発表する。</li> </ul>			
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文を読んで、生活の役に立つロボットを考える。</li> </ul>			
<p>【技能審査の成果の単位認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。</li> </ul>					

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	<p>1 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え、やり取りを通して必要な情報を得ることができる。</p> <p>2 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。</p>	教科書・副教材等	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅡ (開隆堂)		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語運用に必要な文法事項や表現を理解している。</li> <li>知識を基にして、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題テスト</li> <li>定期考査</li> <li>課題の達成状況の記録</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>言語活動の取り組み状況の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発言、発表の内容</li> <li>授業内の活動状況</li> </ul>	
学習計画					
学習内容		学習のねらい			考査
1 学期	Lesson 1 Reflections Before Starting a New Life	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友だちの興味・関心について紹介する。現在と過去を表す表現について学習する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 2 Let Your Dreams Come True	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の将来の計画や夢について紹介する。未来を表す表現について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 3 Dos and Don'ts in Social Media	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの使い方について発表する。助動詞について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 4 Future Prospects	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来予測される事柄について発表する。完了形について学習する。</li> </ul>			
2 学期	Lesson 5 Let's Keep in Good Shape	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康によいと言われている行動について発表する。動名詞について学習する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 6 Energy Consumptions in the World	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界のエネルギー消費の実態について、問題点も含めて発表する。比較級・最上級について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 7 Voter Turnout in Comparison	<ul style="list-style-type: none"> <li>国ごとの投票率の違いについて、その背景を含めて発表する。同数比較・倍数比較について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 8 What Has Impressed Me the Most	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに感銘を受けた人物や本などについて紹介する。動名詞について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 9 Sports for Everybody	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢・性別に関係なく楽しめるスポーツについて紹介する。to不定詞について学習する。</li> </ul>			
Lesson 10 The Latest News from around the World	<ul style="list-style-type: none"> <li>報道番組で取り上げたいニュースについて説明する。分詞について学習する。</li> </ul>				
3 学期	Lesson 11 Let's Find Out What We Can Do for Others	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外で必要とされているボランティア活動について発表する。関係代名詞について学習する。</li> </ul>			学年末
	Lesson 12 Learn about Other Countries and People	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来住みたい場所について、その魅力が伝わるように説明する。関係副詞について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 13 Global Issues	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題や社会問題について、その解決方法を的確に説明する。仮定法について学習する。</li> </ul>			
	Lesson 14 Food Culture around the World	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな国の食文化について、その背景も含めて発表する。特殊構文について学習する。</li> </ul>			

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。			教科書・副教材等	Revised ENGLISH NOW English Communication II (開隆堂)
評価					
観点	評価規準			方法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言・発表の内容 ・課題提出、ノートの作成状況	
外国語表現の能力	・幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。			・小テスト、定期考査 ・課題の内容	
外国語理解の能力	・幅広い話題について、英語を話したり読んだりして伝えようとする情報や考えを整理して理解できる。			・定期考査、課題テスト ・教科書の内容やその関連事項についてのQ & A	
言語や文化についての知識・理解	・幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	Lesson 6 Rakugo Goes to the U.S. Let's Communicate② Lesson 7 The Kizuna Bridge	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落語を通して外国人が日本文化をおもしろいと思う点を読み取る。</li> <li>・make+目的語+動詞の原形について理解する。</li> <li>・乗り換え案内の表現を理解し、対話を行う。</li> <li>・日本の国際貢献について理解する。</li> <li>・関係代名詞を含む文を理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	場面で理解③ Lesson 8 Ken's Everlasting Challenge Lesson 9 The Zero Emissions Project Let's Communication 3 場面で理解④ Further Activities ①～⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断る、苦情を言う表現を理解する。</li> <li>・分詞構文について理解する。</li> <li>・俳優、渡辺謙の人生について知り、挑戦することの意味を考える。</li> <li>・仮定法過去について理解する。</li> <li>・究極のエコカー作りの話を通して、環境問題について考える。</li> <li>・仮定法過去について理解する。</li> <li>・レストランの注文について理解する。</li> <li>・忠告、丁寧に依頼する表現を理解する。</li> <li>・既習の内容について、ペアやグループワークをしながら、意見を共有する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない語の意味を文脈から推測したり、これまでに学んだ知識を活用したりしながら的確に内容を読み取る。</li> </ul>			実施なし
<b>【技能審査の成果の単位認定】</b> ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	英語探究	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択) 普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	<p>1 様々な時事内容を網羅した英文を読むことによって、英語を通して知識を高め、自分の考えをまとめるとともに、英語のコミュニケーション活動で必要な力を養う。</p> <p>2 英文を読んで、必要な情報や書き手の意向を得て、自分の考えや要点を伝える。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>			教科書・副教材等	Watching World (浜島書店) Listening & Speaking Training Seminar 2 (株式会社ラーンズ)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容に関心を持ち、意欲的に英語を読み、コミュニケーションを円滑に図ろうと、努力している。</li> <li>聞き手に伝わるように音読に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発言、発表の内容</li> <li>課題提出、ノートの作成状況</li> </ul>	
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとまりのある文章を読んで、その内容について自分の考えなどを伝えることができる。</li> <li>身近な英文のニュースなどを読んで、その感想を述べることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト、定期考査</li> <li>課題の内容</li> </ul>	
外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとまりのある文章を読んで、必要な情報を読み取り、概要や要点をまとめることができる。</li> <li>まとまりのある文章を読んで、書き手の意向などを読み取ることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、課題テスト</li> <li>教科書の内容やその関連事項についてのQ &amp; A</li> </ul>	
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文を読むために、必要な文法や語彙を知識として豊富に持っている。</li> <li>学習で取り扱われた文化の内容を理解し、自国の文化との違いを理解する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、課題テスト</li> <li>課題の達成状況</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の食文化について読み、好きな料理の特徴や食材について発表する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語国家シンガポールの社会について読み、習ってみたい外国語について発表する。</li> </ul>			
	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリア英語について読み、方言について話す。</li> </ul>			
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>インドのガンジス川について読み、日本の観光地やイベントについて話をする。</li> </ul>			
	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>トルコ料理について読み、外国人に勧めたい日本食について説明する文を作る。</li> </ul>			
2 学 期	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラマダンについて読み、日本の伝統行事について話す。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子化の進むケアについて読み、スマートフォンの便利な機能やアプリについて発表する。</li> </ul>			
	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア正教について読み、日本の寺や神社を案内するときの説明を考える。</li> </ul>			
	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスの寄宿舎について読み、学校生活の思い出について発表する。</li> </ul>			
	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイスランドのエネルギー政策について読み、日本のエネルギー利用の課題について考える。</li> </ul>			
3 学 期	Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジルの移民について読み、現代社会における移民の問題について考える。</li> </ul>			実施なし
	Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>メキシコの「死者の日」について読み、日本のお盆やお墓参りについて発表する。</li> </ul>			
	Lesson 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカの州制度について読み、日本との違いを考える。</li> </ul>			
<p>【技能審査の成果の単位認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語I」の単位数に3単位を加えることができる。</li> </ul>					



科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。			教科書・副教材等	Revised ENGLISH NOW English Communication II (開隆堂)
評価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言・発表の内容 ・課題提出、ノートの作成状況	
外国語表現の能力	・幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。			・小テスト、定期考査 ・課題の内容	
外国語理解の能力	・幅広い話題について、英語を話したり読んだりして伝えようとする情報や考えを整理して理解できる。			・定期考査、課題テスト ・教科書の内容やその関連事項についてのQ & A	
言語や文化についての知識・理解	・幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学習計画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson 6 Rakugo Goes to the U.S.  Let's Communicate②  Lesson 7 The Kizuna Bridge	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落語を通して外国人が日本文化をおもしろいと思う点を読み取る。</li> <li>・make+目的語+動詞の原形について理解する。</li> <li>・乗り換え案内の表現を理解し、対話を行う。</li> <li>・日本の国際貢献について理解する。</li> <li>・関係代名詞を含む文を理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	場面で理解③  Lesson 8 Ken's Everlasting Challenge  Lesson 9 The Zero Emissions Project  Let's Communication 3 場面で理解④ Further Activities ①～⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断る、苦情を言う表現を理解する。</li> <li>・分詞構文について理解する。</li> <li>・俳優、渡辺謙の人生について知り、挑戦することの意味を考える。</li> <li>・仮定法過去について理解する。</li> <li>・究極のエコカー作りの話を通して、環境問題について考える。</li> <li>・仮定法過去について理解する。</li> <li>・レストランの注文について理解する。</li> <li>・忠告、丁寧に依頼する表現を理解する。</li> <li>・既習の内容について、ペアやグループワークをしながら、意見を共有する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない語の意味を文脈から推測したり、これまでに学んだ知識を活用したりしながら的確に内容を読み取る。</li> </ul>			実施なし
【技能審査の成果の単位認定】					
・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。		教科書・副教材等	Revised BIG DIPPER English CommunicationⅢ (数研出版) スクランブル英文法・語法 (旺文社)	
評価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろうと努力する。</li> <li>授業で学んだ表現を積極的に活用して話したり書いたりする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発言、発表の内容</li> <li>課題提出、ノートの作成状況</li> </ul>	
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で論理的に意見や感想を述べたり、趣旨が明確な英文で書いたりすることができる。</li> <li>聞き手に伝わるように英語で音読したり暗唱したりすることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト、定期考査</li> <li>課題の内容</li> </ul>	
外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。</li> <li>ジャンルや目的に応じて読み方を工夫しながら、概要や要点を捉えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、課題テスト</li> <li>教科書の内容やその関連事項についてのQ&amp;A</li> </ul>	
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語、熟語、文法などについて、その意味や適切な使い方を理解している。</li> <li>英語を使う上で必要な文化的背景について理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、課題テスト</li> <li>課題の達成状況</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson1~Lesson16	<ul style="list-style-type: none"> <li>言い換え表現について理解する。</li> <li>追加・列挙・対比・例示の表現について理解する。</li> <li>討論でよく使う表現を理解する。</li> <li>対比・譲歩の表現を理解する。</li> <li>新聞記事の読み方を理解する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson17 教育・健康 Lesson18 発表・説明 Lesson19 環境・自然 Lesson20 言語・文化 Lesson21 科学・技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカの子どもたちに必要な靴の英文を読み、ケニアを含むアフリカの事情について読み取る。</li> <li>訪日観光客数の推移のプレゼンテーション資料から図を読み取ったり、意見を要約したりする。</li> <li>人口の急激な増加と産業の発展によるアジア・アフリカの水不足の深刻化について考える。</li> <li>ユネスコによる言語消滅の危機についての英文からボトル飲料水の是非について考える。</li> <li>人工衛星同士の衝突の英文を読み、宇宙ゴミについて読み取る。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	Lesson22 歴史・人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハリエット・タブマンについての伝記を読み、要約文を作る。</li> </ul>			実施なし
	Lesson23 自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネオニコチノイドという農薬の英文を読み、環境について考え、必要な内容に要約する。</li> </ul>			
	Lesson24 心理・コミュニケーション Lesson25 技術・社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーク・トウェインについての伝記を読み、意見と事実の区別をする。</li> <li>ディスカッションをする。</li> </ul>			
【技能審査の成果の単位認定】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。</li> </ul>					

科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。			教科書 ・ 副教材 等	New ONE WORLD Expressions II (第一学習社) SEED総合英語 [四訂新版] (文英堂) 英語ターゲット1400 5訂版 (旺文社)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言、発表の内容 ・ペアワーク、グループワークの活動状況	
外国語表現の能力	・事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、英語で伝えることができる。			・小テスト、定期考査 ・教科書の内容やその関連事項についてのQ&A	
言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	LESSON 17 LESSON 18 LESSON 19 LESSON 20 LESSON 21 LESSON 22 LESSON 23 LESSON 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼・許可・断りを表す表現を理解する。</li> <li>・助言・忠告を表す表現を理解する。</li> <li>・提案・勧誘を表す表現を理解する。</li> <li>・予定・意図を表す表現を理解する。</li> <li>・祝福・喜び・感謝を表す表現を理解する。</li> <li>・希望・期待を表す表現を理解する。</li> <li>・苦情・謝罪を表す表現を理解する。</li> <li>・場所・方向を表す表現を理解する。</li> </ul>			中間 ・ 期末
2 学 期	LESSON 25 LESSON 26 LESSON 27 LESSON 28 LESSON 29 LESSON 30 LESSON 31 LESSON 32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量・頻度・割合を表す表現を理解する。</li> <li>・比較・対照を表す表現を理解する。</li> <li>・目的を表す表現を理解する。</li> <li>・程度・結果を表す表現を理解する。</li> <li>・原因・理由・根拠を表す表現を理解する。</li> <li>・説明・描写を表す表現を理解する。</li> <li>・例示で使われる表現を理解する。</li> <li>・主張・賛成・反対を述べる。</li> </ul>			中間 ・ 期末
3 学 期	LESSON 33 LESSON 34 LESSON 35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推察・確信を表す表現を理解する。</li> <li>・列挙・時間的順序を述べる表現を理解する。</li> <li>・パラグラフライディングにチャレンジする。</li> </ul>			実施 なし
<b>【技能審査の成果の単位認定】</b> ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	家庭基礎	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組
学習の到達目標	<p>1 青年期を起点として自分の生き方を考えさせ、子どもや高齢者などの異なる世代と関わり共に生きる力を育成する。</p> <p>2 持続可能な社会の構築を目指して健康や環境に配慮しながら自立して生活する能力を育成する。</p> <p>3 男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育成する。</p>	教科書・副教材等	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる (第一学習社) 家庭科ノート 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題やノート、ワークシート</li> <li>実習態度・作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題やノート、ワークシート、感想</li> <li>実習の計画、記録</li> <li>作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組み、実践的な態度を身に付けている			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度や発表等</li> <li>課題やノート、ワークシート</li> <li>作品</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	家庭科を学ぶみなさんへ <b>Skill Up家庭科!</b> 1章 これからの生き方と家族 2章 次世代をはぐくむ 3章 充実した生涯へ 4章 ともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会の構築には多くの世代・多様な人たちの参画が必要であることがイメージできるようにする。</li> <li>問題の発見、調査・情報収集、ほかの考えを持つ人との対話、自分の考えの表現方法などが身に付くようにする。</li> <li>人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉について考え、共に支え合って生活することの重要性について認識する。</li> </ul>			期末
2 学 期	6章 衣生活をつくる 7章 住生活をつくる 8章 経済生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>被服管理に必要な被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術を習得し、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようにする。</li> <li>住居の機能、住居と地域社会のかかわりなどに必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、安全で環境に配慮した住生活を営むことができるようにする。</li> <li>消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにする。</li> </ul>			期末
3 学 期	5章 食生活をつくる Enjoy 家庭科! 章末「ホームプロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を習得し、生涯を見通した食生活を営むことができるようにする。</li> <li>家庭科で学んだことを自分の生活に照らして考え、課題を見つけ、「ホームプロジェクト」「学校家庭クラブ活動」を通じて、幅広い知識と教養を身に付けるようにする。</li> </ul>			学年末

科目名	生活実践	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 (選択) 普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 衣食住、環境、家庭経済、マナーなどに関する青年期に必要な生活技術や知識を習得する。 2 生涯の生活をより良くするための課題解決学習に取り組み、実践する能力と態度を育てる。 3 技術検定を受験し、技術力の定着を図る。	教科書 ・ 副教材 等			最新生活ハンドブック (第一学習社) 家庭科ノート 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	家庭生活やマナーに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題やノート、ワークシート</li> <li>・実習態度・作品</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	家庭生活に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題やノート、ワークシート、感想</li> <li>・実習の計画、記録</li> <li>・作品</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	家庭生活に関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度や発表等</li> <li>・課題やノート、ワークシート</li> <li>・作品</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 自分を見つめる (1) 人生の目標と経済計画 (2) 10年後の私 (3) コンテスト出品計画  2 生活での実践力を身につける (1) 食事編 食物調理技術検定4級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクルにおける青年期の役割を考え、ライフプランを作成する。また、収入と支出などの家計の管理やカード社会に関する理解を深め、公的年金や保険についても考える。</li> <li>・家庭基礎で学んだ内容を踏まえ、各種家庭科に関するコンテストに応募し、技術の向上・表現力を高める。</li> <li>・栄養・食品・調理に関する知識と技術を習得し、充実した食生活を営むことができるようにする。</li> <li>・技術検定に挑戦し、技術向上を図る。</li> </ul>			期末
2 学 期	(2) 被服編 被服製作技術検定4級  (3) 保育・福祉編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の製作に関する知識と技術を習得し、充実した衣生活を営むことができるようにする。</li> <li>・技術検定に挑戦し、技術向上を図る。</li> <li>・乳幼児や高齢者の心身の特徴を理解し、現状と課題を考える。</li> <li>・交流を通して、実践力を身に付ける。</li> </ul>			期末
3 学 期	3 住まい方を考える  4 マナーを身に付ける。  5 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の形態や暮らし方を想定した住居の平面計画・インテリア計画ができるようにする。</li> <li>・洋食献立におけるテーブルマナーを学ぶ。</li> <li>・茶道の実践を通して、礼儀や文化について考え、もてなしの心を養う。</li> <li>・家庭や学校における問題や課題を見つけ、グループで学習する。</li> </ul>			学年末

科目名	フードデザイン	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	1 栄養、食品、調理などに関する知識と技術を習得する。 2 食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。 3 食物調理技術検定3級以上を習得する。	教科書・副教材等		フードデザイン Cooking & arrangement (教育図書) 最新生活ハンドブック (第一学習社) 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	食生活を総合的にデザインする能力を身に付けている。フードデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価</li> <li>教師の観察記録</li> <li>取組状況</li> </ul>	
思考・判断・表現	フードデザインに関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題やノート、ワークシート、感想</li> <li>実習の計画、記録</li> <li>作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	フードデザインに関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>献立作成</li> <li>料理の仕上がり</li> <li>実習ノート</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 食生活と健康  第3章 調理と献立  食物調理技術検定3級	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・友人等集団での食事を共にすることの意義を再確認する。</li> <li>食材の背景にあるものに気づき、食料の価値を考える。</li> <li>栄養バランス、年齢、性、身体活動レベル、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、用途に適した献立が作成できる。</li> <li>栄養バランスを考えながら、調理できるようにする。</li> <li>技術検定の実施によって、調理に必要な知識と技術を養う。</li> </ul>			期 末
2 学 期	第2章 栄養素・食品の特徴  第4章 調理実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種栄養素の特徴と体内ではたらきについて理解する。</li> <li>多様で多量な輸入食材と日本の食糧事情の現状と将来について考える。</li> <li>食品の特徴や調理性を理解する。</li> <li>食中毒や衛生についての知識を深め、衛生と安全に配慮した調理ができる。</li> <li>だし、味覚効果、料理の触感や温度、素材の持ち味等おいしさに関わる要素を理解し、調理に生かせる。</li> </ul>			期 末
3 学 期	第5章 豊かな食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>和風、洋風等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解する。</li> </ul>			実 施 な し

科目名	子どもの発達と保育	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組(選択)
学習の到達目標	1 乳幼児の発育・発達、乳幼児の生活、保育、福祉に関する知識と技術を習得する。 2 実習を通して、乳幼児の保育や福祉の充実を図る能力や態度を育てる。	教科書・副教材等		子どもの発達と保育 育つ、育てる、育ち合う (教育図書)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基礎的・基本的な技術を身に付け、実習を計画的に行うことができる。 乳幼児の保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			・自己評価 ・作品 ・教師の観察記録 ・取組状況	
思考・判断・表現	乳幼児の保育に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			・ノートやレポート ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	乳幼児の保育に関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身に付けている。			・授業中の発言、発表 ・実習態度 ・作品 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 子どもの発達の特性 第2章 子どもの発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージにおける乳幼児期の位置付けを確認し、生涯発達のために乳幼児期が大切であることを理解する。</li> <li>・日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度のしくみについて理解する。</li> <li>・乳幼児期の発達と、環境の関係を理解する。</li> <li>・愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解する。</li> <li>・親や家族、地域社会などの環境が子どもの人格形成に与える影響を考える。</li> <li>・保育園への訪問を通して、幼児理解を深める。</li> </ul>			期 末
2 学 期	第3章 子どもの生活 第4章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護の必要性、目的を理解し、発達段階に応じた適切な養護の方法について考える。</li> <li>・子どもにとって遊びは重要であり、自然に触れる喜びや感動が豊かな心を育むことを理解する。</li> <li>・子どもの健康を守るための保育者の役割を理解し、健康状態の観察方法を知るとともに、病気の特徴や住まいに潜む危険について理解する。</li> <li>・人間形成の基礎を培う乳幼児期の大切さと保育の意義について考える。</li> <li>・子どもが育つ環境の問題点を知り、家庭での保育と集団保育のそれぞれの課題について考える。</li> <li>・幼稚園への訪問を通して、幼児理解を深める。</li> </ul>			期 末
3 学 期	第5章 子どもの福祉と子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉法や児童福祉関連施設の概要について理解する。</li> <li>・子育て家庭への支援に関する施策を理解し、その意義について考える。</li> </ul>			実 施 な し

科目名	フードデザイン	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組(選択)
学習の到達目標	<p>1 栄養、食品、調理などに関する知識と技術を習得する。</p> <p>2 食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。</p> <p>3 食物調理技術検定2級以上を習得する。</p>	教科書・副教材等		フードデザイン Cooking & arrangement (教育図書) 最新生活ハンドブック(第一学習社) 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	食生活を総合的にデザインする能力を身に付けている。 フードデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価</li> <li>教師の観察記録</li> <li>取組状況</li> </ul>	
思考・判断・表現	フードデザインに関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題やノート、ワークシート、感想</li> <li>実習の計画、記録</li> <li>作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	フードデザインに関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>献立作成</li> <li>料理の仕上がり</li> <li>実習ノート</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>第1章 食生活と健康</p> <p>第3章 調理と献立</p> <p>食物調理技術検定3級</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・友人等集団での食事を共にすることの意義を再確認する。</li> <li>食材の背景にあるものに気づき、食料の価値を考える。</li> <li>栄養バランス、年齢、性、身体活動レベル、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、用途に適した献立が作成できる。</li> <li>技術検定の実施によって、調理に必要な知識と技術を養う。</li> </ul>			期末
2 学 期	<p>第2章 栄養素・食品の特徴</p> <p>第4章 調理実習</p> <p>食物調理技術検定2級</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養バランスを考えながら、1日分の献立を考え、調理できるようにする。</li> <li>各種栄養素の特徴と体内でのはたらきについて理解する。</li> <li>食品の特徴や調理性を理解する。</li> <li>食中毒や衛生についての知識を深め、衛生と安全に配慮した調理ができる。</li> <li>だし、味覚効果、料理の触感や温度、素材の持ち味等おいしさに関わる要素を理解し、調理に生かせる。</li> </ul>			期末
3 学 期	第5章 豊かな食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>和風、洋風等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解する。</li> </ul>			実施なし



科目名	情報 I	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 普通科	1年1組 1年2組
学習の到達目標	<p>1 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深める。</p> <p>2 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>3 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>			教科書・副教材等	最新情報 I (実教出版) 最新情報 I 学習ノート (実教出版)	
評 価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ノート</li> <li>・製作された作品</li> </ul>	
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・定期考査</li> <li>・製作された作品</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・毎時間の取組状況</li> <li>・実習への取組状況</li> </ul>	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>オリエンテーション 第1章 情報社会と私たち</p> <p>第2章 メディアと情報デザイン</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会の現状、特性、及び情報モラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。</li> <li>・知的財産権、著作物、個人情報、プライバシーについて理解する。</li> <li>・様々な情報技術について理解し、課題解決の方法について考える。</li> <li>・メディアの特性を理解し、目的に応じたメディアを選択するとともに、インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。</li> <li>・情報を正確にわかりやすく伝える情報デザインについて理解する。</li> </ul>			期末
2 学 期	<p>第3章 システムとデジタル化</p> <p>第4章 ネットワークとセキュリティ</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの構成と動作の仕組み、ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。</li> <li>・コンピュータの演算の仕組みを理解し、数値や文字、音声、静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。</li> <li>・情報通信ネットワークの構成、データを効率よく転送する工夫について理解する。</li> <li>・情報セキュリティを確保する方法と技術、情報を安全に取り扱うための技術について理解する。</li> </ul>			期末
3 学 期	<p>第5章 問題解決とその方法</p> <p>第6章 アルゴリズムとプログラミング</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の発見、明確化、検討・整理・分析、解決案の決定、評価する方法について理解する。</li> <li>・表計算ソフトを用いたデータの分析方法やその活用方法について理解する。</li> <li>・モデル化する手順と方法を理解し、問題解決のためにシミュレーションを活用する。</li> <li>・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。</li> <li>・多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。</li> </ul>			学年末

科目名	農業と環境	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	1 体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	教科書・副教材等			農業と環境 (実教出版)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の保全や農業生物の育成など環境と農業に関する基礎的な知識を身に付け、環境と人間生活の関係や農業生物の特性と栽培環境の関係を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>レポート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境や農業に関する課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身に付ける。</li> <li>調査結果や栽培の観察・考察などを正確に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境や農業に関する課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付ける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 環境と人間生活 (1) 森林、河川、耕地の生態系 ア 生態系のしくみ イ 森林の生態系 (2) 地球環境と人間生活 ア 森林機能 イ 環境と調和した農業 2 農業生物の育成 (1) イネの栽培と利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域環境の観察や統計資料及び地球環境に関する衛星情報や統計資料などによる具体的な事例を通して、生態系が人間社会に深く関わっていることを理解する。</li> <li>森林、農耕地、都市などの生態系の特徴を理解するとともに、これらの生態系が人間の生活や経済活動によってどのような影響を受けているか耕地や農村、都市の生態系とを対比して理解する。</li> <li>作物などの農業生物の生育過程などの基礎的な知識を習得し、農業生物の生理、生態的な特性と規則性について理解する。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	3 農業生物の育成 (1) イネの栽培と利用 (2) 緑化用草花の栽培と利用 4 環境の保全、創造 (1) 森林と環境保全 (2) 緑地と景観創造 ア 農村の環境整備 イ 河川の環境整備 ウ 都市環境の創造		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源の管理方法、森林保護の方法などの学習を通して、森林の環境保全機能に関する基礎的な知識と技術を習得する。</li> <li>農村や水辺、都市の緑地による景観の維持と創造に関する知識と技術を習得し、農村の環境整備のあり方を考える。</li> <li>河川環境を理解し、自然に近い川づくりの考え方を理解する。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	5 環境学習と学校農業クラブ活動 (1) プロジェクト学習 (2) 学校農業クラブ活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>「農業」におけるプロジェクト学習は、生徒自身が、課題設定、計画、実施、反省、評価することを理解する。</li> <li>教科「農業」の目標の達成を目指すとともに、科学性、社会性、指導性の育成を目標にしていることを理解する。</li> </ul>		学年末

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	1 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 2 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			教科書・副教材等	なし
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>各専攻分野における技能が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の内容や仕方</li> <li>作業の精度</li> <li>農業鑑定競技</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。</li> <li>プロジェクト活動の記録や考察が正確に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>実習記録簿</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農作物や林産物の育成から加工品の開発など、農林業を体系的に捉え、意欲的に取り組む態度を身に付けている。</li> <li>班員と協力して作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>プロジェクト活動</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考查
1学期	○園芸 1 夏野菜・草花の栽培 ○育林 1 さし木 2 苗畑管理 3 林地管理 ○林産加工 1 製造 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な技術と作業内容の概要を学ぶ。</li> <li>さし木の作業手順とさし木後の育苗について学習し、さし木用土と発根の関係について調査・観察を行う。</li> <li>種子繁殖と栄養繁殖の違いについて学習する。</li> <li>帯のこ盤の種類や構造について学習し、製材機械を安全に取り扱う知識・技術を身に付ける。</li> <li>製材の際に出てくるおがくずの有効利用について学習する。</li> <li>農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
2学期	○園芸 1 秋冬野菜・草花の栽培 ○育林 1 樹木生育調査 2 枝打ち ○林産加工 1 製造 2 キノコ栽培 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な技術と作業内容の概要を学習する。</li> <li>地域の森林・林業の実態を学習し、森林管理の重要性と望ましい森林の姿を考察する。</li> <li>スギ、ヒノキの枝打ち実習を行い、その目的と方法を学習する。</li> <li>手押しかんな盤を用いて、製材した面を平らに面削りする実習を行う。</li> <li>キノコの主な栽培方法として、原木栽培及び菌床栽培を学習する。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
3学期	○園芸 1 圃場の土作り・整備 ○育林 1 農具の手入れ 2 苗畑管理 ○林産加工 1 木材の工作 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>農閑期における作業が次の管理の効率化に結び付くことを学習する。</li> <li>木登り器を用いた枝打ち方法について学習し、刃物の使い方や研磨方法について学習する。</li> <li>山出し苗の育苗と苗木の管理方法について学習する。</li> <li>1・2学期に学習した製材及び加工の機械を活用し、木材工作を行う。</li> <li>木工品の製作をとおして、間伐材を有効利用することの重要性を学習する。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。	教科書・副教材等	森林科学（実教出版）		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の多面的機能や森林管理の意義や今日的な課題に関する知識を身に付け、育苗、造林、保育や伐採などの実習及び森林や林木などの調査を行う技能を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>学習活動への取組</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗、造林、保育や伐採などの実習及び森林や林木などの調査、観察や実験など学習活動の成果を考察し、適切に表現できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の論述問題</li> <li>発表の内容や方法</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林や林業に関する課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付ける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>実習態度</li> <li>発表の内容や方法</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林の役割 ア 森林の多面的機能 イ 森林管理の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の機能は、多面的な機能をもつことが最大の特徴であり、いろいろな機能が複合的に発揮されることで、総合的に大きな効果が得られるものになることを学習する。</li> <li>森林のもつ多面的な機能を維持するためには、森林の健全性と活力の維持を図る森林管理が重要であることを学習し、我が国の森林の育成、保全、利用における課題について考える。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	2 森林の生態 ア 森林の生態と分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林生態系ごとの樹種別割合、植物・動物・菌類や微生物の相互関係及び水や炭素などの物質循環について学習する。</li> <li>我が国と世界の森林帯の分布及び森林の遷移について学び、森林植生の分布と緯度や標高に伴う気候の違いとの関係を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	イ 林木の生育と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国で生産される有用林木を中心に、針葉樹と広葉樹の形状や幹の細胞組織など樹種の性状及び主な樹種の用途について学び、樹種の性状と用途との関係について理解する。</li> <li>林木の観察や調査などを通して、主な林木の形態や生育特性、林木の生育と環境要因が相互に関係していることを理解させる。</li> </ul>			学年末

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 農林業の各分野についての実験・実習など、実際の、体験的な学習を通して、総合的な技術を習得し、経営と管理についての理解を深める。 2 農林業の経営や管理の改善に必要な管理能力や企画力、コミュニケーション能力など、実践的な能力と態度を育てる。 3 農林業の各分野における総合的な実習を通して、地域農林業の実態を理解する。	教科書 ・ 副教材 等	なし		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>・各専攻分野における技能が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の内容や仕方</li> <li>・作業の精度</li> <li>・農業鑑定競技</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。</li> <li>・プロジェクト活動の記録や考察が正確に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習態度</li> <li>・実習記録簿</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物や林産物の育成から加工品の開発など、農林業を体系的に捉え、意欲的に取り組む態度を身に付けている。</li> <li>・班員と協力して作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習態度</li> <li>・プロジェクト活動</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考
1 学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 2 収穫・調整・販売 ○育林 1 育苗 2 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅰ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜、草花栽培に必要な作業内容の概要を学ぶ。</li> <li>・ヒノキ苗の育苗に必要な床がえ作業を行い、その目的と方法について学習する。</li> <li>・除草作業の目的を理解し、雑草との競合を避けることの重要性を学習する。</li> <li>・下刈り作業を実施し、並行して行うつる切りの目的を理解する。</li> <li>・板材の製材について、基本的な技術を習得する。</li> <li>・桁目・板目の特徴について学習する。</li> <li>・角材の製材について、基本的な技術を習得する。</li> <li>・木材の性質を学び、有効な木材利用の基礎知識を学習する。</li> <li>・農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。</li> <li>・栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>・日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
2 学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 ○育林 1 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅱ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜、草花栽培に必要な作業名と作業内容の概要を学習する。</li> <li>・次年度の採穂と採穂圃の管理の関わりについて理解する。</li> <li>・はしご及び木登り器を用いた枝打ちを実施し、枝打ちに関する知識・技術を身に付ける。</li> <li>・剥皮など、特殊な木材加工を体験し、多種多様な木材加工技術と知識を学習する。</li> <li>・実際に木材を加工しながら、木材の性質に関する知識や加工技術を身に付ける。</li> <li>・栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>・日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
3 学期	○園芸 1 圃場の整備 2 播種及び育苗管理 ○育林 1 農具の手入れ 2 温室管理 ○林産加工 1 キノコの人工栽培 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場の整備を行い、作業の効率化の大切さを学ぶ。</li> <li>・夏野菜の苗の育て方について学習する。</li> <li>・カマの研磨やチェーンソの手入れ方法について学習する。</li> <li>・さし木床の管理を行い、育苗に必要な知識を身に付ける。</li> <li>・木材加工で発生するおがくずでのキノコ生産等、栽培をとおして資源の再利用について学習する。</li> <li>・栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし

科目名	農業と情報	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組（選択）
学習の到達目標	<p>1 社会における情報化の進展、及び通信技術の向上に伴う新たな産業を知ると共に、その仕組みと利用・活用方法について理解する。</p> <p>2 パソコンにおいて、代表的なソフトウェアの基礎から応用までを学習し、農業に関する各分野でデータを分析・処理し、活用する能力を養う。</p>	教科書・副教材等		農業と情報（実教出版）	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報関連用語を理解できる。</li> <li>・ハードウェア、ソフトウェアの操作技能がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の内容</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理での最適な流れの思考、判断ができる。</li> <li>・ソフトウェアにおけるデータの特徴を生かした情報の計画が立てられる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組み</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器への興味、関心がある。</li> <li>・コンピュータなどの技術進歩に関する興味、探究心がある。</li> <li>・ソフトウェア活用における技能向上への意欲、集中力、持続力がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習用具の準備</li> <li>・授業への取り組み</li> <li>・課題に取り組む姿勢</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>1 私たちの生活と農業の情報化</p> <p>(1) 情報とメディア</p> <p>(2) 情報社会とモラル</p> <p>(3) 農業を支える情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報とはなにかを理解し、私たちの生活と情報のかかわりと、情報を活用した農業について学ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	<p>2 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>(1) データの集計と視覚化</p> <p>(2) データベースシステムとオープンデータ</p> <p>(3) プレゼンテーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトのデータ入力、作表、グラフの作成という基本操作の復習と、応用的な関数について学ぶ。</li> <li>・多様なデータベースとその特徴、利用目的に応じたデータの収集などについて学ぶ。</li> <li>・文字、画像、音声などの情報を伝達する手段の一つとしてプレゼンテーションソフトウェアの使いかたについて学ぶ</li> </ul>			期末
3 学 期	<p>3 スマート農業への展望</p> <p>(1) スマート農業のめざす将来</p> <p>(2) リモートセンシングとGIS</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業のしくみを理解するとともに、林業の現場で使用されているドローン測量簡単なシステムの設計を通して情報システムについて学ぶ。</li> </ul>			学年末
<p>【技能審査の成果の単位認定】</p> <p>・在学中に「全国商業高等学校協会主催情報ビジネス検定1級」または「全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級（ビジネス部門）」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「農業情報処理」の単位数に2単位を加えることができる。</p>					

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。	教科書・副教材等		森林科学 (実教出版)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の育成、保全と利用に必要な知識を身に付け、育苗、造林、森林保育の技術と森林生態系、林木の生育特性との関係を理解している。</li> <li>森林の育成、保全と利用について技術を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取り組み</li> <li>定期考査</li> <li>技能テスト</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の育成、保全と利用について多面的に考察し、育苗、造林、森林保育の実践方法を適切に判断するとともに、地域の森林づくりに提言を行える創造的、実践的能力を身に付けている。</li> <li>森林生態系、林木の生育特性について行った観察や考察を適切に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート作成</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の育成、保全と利用に関心を持ち、育苗、造林、森林保育を意欲的に実践しようとするとともに、森林生態系と林木の生育特性について科学的にとらえようとする実践的な態度を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の準備</li> <li>学習活動への取り組み</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林と育林 2 育苗と造林 3 苗畑の管理 4 人工更新と天然更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の役割について学び、わが国の森林育成、保全、利用における課題について学習する。</li> <li>森林造成のもとになる苗木の作り方と森林造成の基礎を学習する。</li> <li>実生苗やさし木苗の養成などの実験・実習を通して、苗木の生育と環境との関係について理解する。</li> <li>神光2号(ヒノキ)の、さし木苗の育成方法を学習する。</li> <li>苗畑の管理(床づくり、施肥、床がえ等)苗木の管理技術、器具の取り扱い方を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	5 主な林木の造林方法 6 林木の生育と環境 (1) 主な樹種の性状 (2) 林木の生育特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的樹種の生理、生態特性を学習し、それぞれに応じた造林方法を学ぶ。</li> <li>演習林などで実物の観察を行う。</li> <li>主な樹種の性状、樹木の識別への関心と能力、樹種特性を学習する。</li> <li>葉の形状、枝の付き方、樹皮、花、芽の状態から樹木を判断できるようにする。</li> <li>林木の生育特性に関する知識を学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	(3) 林木の生育と環境因子	<ul style="list-style-type: none"> <li>林木の生育と環境要因が林木に与える影響に関する知識を学ぶ。</li> <li>寒冷地における林木の種類と生育状態を観察し、久万高原町の自然環境についての学習を行う。</li> </ul>			学年末

科目名	林産物利用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得し、循環資源としての木材の在り方を考える。 2 林産物の特性を理解するとともに、林産物の多様な利用を図る能力と態度を育てる。	教科書 ・ 副教材 等	林産物利用（実教出版）		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材の用途と特性の関係について理解している。</li> <li>工作機械を安全に使用方法を理解している。</li> <li>正確な板取が行える。</li> <li>木材を正確に切断することができる。</li> <li>部品を正確に接合することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実習中の観察</li> <li>実技試験</li> <li>作品の評価</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器を正しく取り扱い、部品を正確に加工や組み立てすることができる。</li> <li>自分や他人に対して安全に実習を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>林産製造の実習に対して、積極的に取り組むことができる。</li> <li>他と協力して、安全かつ確実に作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>実習への取り組みと姿勢</li> <li>ノートの点検</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	第1章 林産物利用の意義と動向 (1) 森林・林業と林産物利用 (2) 林産工業の現状と動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林や林業の現状を確認することにより、木材消費を伸ばすために木材加工の技術が必要であることを理解する。</li> </ul>			中間・期末
	第2章 木材の性質と用途 (1) 木材の用途 (2) 木材の構造と性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材を利用した加工品を紹介し、その特性を生かすために必要な木材の性質を学び、有効な木材利用に関する基礎知識を身に付ける。</li> </ul>			
2 学 期	(3) 木材の加工 ア 木工器具の取り扱い ・さしがね ・ノコ ・ノミ イ 木工機器の取り扱い ・ルータ ・角のみ ・自動カンナ盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材を加工しながら、工作機器の使用方法や木材の加工技術・加工方法について学習する。</li> <li>正確に採寸・切断を行う技術を身に付ける。</li> <li>採寸通りに木材を加工する技術を身に付ける。</li> </ul>			中間・期末
	(4) 作品のデザイン・設計 ア 作品のデザイン イ 設計図の作成 ウ 木取り図の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な木工作品を鑑賞し、オリジナルの作品を作成するための準備を行う。</li> <li>デザイン画の作成の仕方について学習する。</li> <li>設計図の書き方について学習する。</li> <li>設計図をもとに、木取り計画を学習する。</li> <li>作品の塗装効果について学習する。</li> </ul>			
3 学 期	第5章 特用林産物の生産と加工 (1) キノコの実産と加工 ア キノコの実態 イ 主なキノコの栽培 ウ キノコの加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>キノコ栽培を通してキノコの特性に応じた培地の作成や栽培管理について学習する。</li> <li>適切な培地の作成、植菌を行う技術を身に付ける。</li> <li>加工を通して、成分の変化や食感の違いについて学習する。</li> </ul>			学年末
【技能審査の成果の単位認定】					
・在学中に「危険物取扱者（乙種1類～6類）」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「林産物利用」の単位数に各1単位を加えることができる。					



科目名	生物活用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 緑のある環境・園芸や社会動物の特性と効用について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 園芸作物の栽培と活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。	教科書・副教材等		生物活用	(実教出版)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物に関する基礎的な知識を身に付け、栽培に生かすことができる。</li> <li>草花の特徴を生かして、フラワーデザインの基本技術を身に付けることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>レポート</li> <li>ノート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培プロジェクトを通して、計画、実施、評価、反省ができています。</li> <li>野菜栽培を通して、地域の自然環境と地域農業について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>プレゼン</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物に興味・関心を持ち、学習活動への積極的な参加がなされている。</li> <li>実習内容や生育調査の記録を正確にできる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>栽培記録プリント</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 草花の栽培と活用 (1) 草花の種類と特性 (2) 園芸デザイン (3) フラワーデザイン 2 野菜・ハーブの栽培と活用 (1) 夏野菜栽培プロジェクト ア 課題設定・栽培計画 イ 実施・評価・反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物の活用が果たしている社会的な役割を理解し、生物の活用に興味と関心を持てるよう学習する。</li> <li>夏野菜を栽培し、園芸活動に必要な知識と技術を身に付ける。</li> <li>1年時の経験をもとに、各班で栽培計画を立て、栽培プロジェクトを実施する。</li> <li>フラワーデザインの基本技術を身に付ける。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	(2) 秋冬野菜栽培プロジェクト ア 課題設定・栽培計画 イ 実施・評価・反省 (3) 野菜の加工・利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋冬野菜を栽培し、園芸活動に必要な知識と技術を身に付ける。</li> <li>各班で栽培計画とその活用方法を立て、栽培プロジェクトを実施する。</li> <li>班別に生育の記録をまとめ、各班で行ったプロジェクトの結果から、良かった点、反省点を洗い出し、班同士で相互評価を行う。</li> <li>野菜の貯蔵・加工方法を理解し、その活用技術を身に付ける。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	3 動物の飼育と活用 (1) イヌの飼育と活用 (2) ネコの飼育と活用 4 生物を活用した療法 (1) 園芸療法 (2) 動物介在療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会動物の飼育と活用について理解するとともに動物とのふれあいや飼育がもたらす心理的効果や身体的効果について考える。</li> <li>生物を活用した療法について学び、生徒自らが行える範囲の活動と専門的な療法との違いを理解できるようにする。</li> </ul>			学年末

科目名	課題研究	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 実践的・体験的な学習をとおして、職業人として必要な資質・能力の育成を目指す。 2 設定した課題の解決策を探求し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を養い、問題解決能力を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	教科書・副教材等	なし		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業の諸問題に関心を持ち、その問題に対して解決していこうという意欲がある。</li> <li>・ 課題意識を持ち、計画に基づいて学習に取り組もうとする実践力がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の態度・発表</li> <li>・ 課題や記録簿のまとめ方</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題に対して適切な解決方法が選択できている。</li> <li>・ 課題解決に向けて自主的に努力し、活動の過程において創意工夫しながら取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題や記録簿のまとめ方</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験・実習に、安全に取り組んでいる。</li> <li>・ 課題を自分で解決し、助言を課題解決に生かすことができる。</li> <li>・ 学習内容を正確・丁寧に記録している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出作品</li> <li>・ 実習態度</li> <li>・ 発表方法</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業の役割について理解し、農林業が抱えている問題について学習できている。</li> <li>・ 研究成果をまとめ、学習する喜びや満足感を感じとることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポートのまとめ方</li> <li>・ 発表内容</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	1 オリエンテーション 2 テーマ設定 3 プロジェクト学習の年間計画 4 学習活動Ⅰ (1) 各部門での学習 5 1学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究の学習内容や方法について理解する。</li> <li>・ プロジェクト学習のテーマについて考える。</li> <li>・ プロジェクト学習の年間計画を立案する。</li> <li>・ 自ら設定したテーマに沿って計画的に学習を進める。</li> <li>・ 1学期の学習内容をまとめ、自主的に学習しそれを継続する姿勢の大切さを確認する。</li> </ul>			実施なし
2 学 期	6 学習活動Ⅱ (1) プロジェクト学習 (2) データの記録・整理 7 2学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら設定したテーマに沿って計画的に学習を進める。</li> <li>・ 学習活動のまとめを行い、研究成果を発表できるようにまとめる。</li> <li>・ 比較調査や1、2学期のまとめを行い、研究成果をレポートにまとめる方法を理解する。</li> <li>・ 他の教科、科目で学習した知識・技術を関連づけ、学習の深化を図る。</li> </ul>			実施なし
3 学 期	8 発表準備 9 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料のまとめ方や発表内容の構成を考える。</li> <li>・ 視聴覚機器の操作方法を理解させ、発表することにより学習内容の定着を図る。</li> <li>・ 課題解決により、達成感と自信を持ち、自己実現を図る能力と態度を育てる。</li> </ul>			実施なし

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 農林業の各分野についての実験・実習など、実際の、体験的な学習を通して、総合的な技術を習得し、経営と管理についての理解を深める。 2 農林業の経営や管理の改善に必要な管理能力や企画力、コミュニケーション能力など、実践的な能力と態度を育てる。 3 農林業の各分野における総合的な実習を通して、地域農林業の実態を理解する。	教科書・副教材等	なし		
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物の育成や農林業の社会的な役割など農林業と農林業の学習に興味・関心をもっている。</li> <li>農業生物の育成に関するプロジェクトを主体的に行い、栽培管理や作業体系を改善するなど実践的な態度を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加の仕方や態度</li> <li>レポート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。</li> <li>プロジェクト活動の記録や考察が正確に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物の育成や生産物の活用、測量技術の習得など農林業に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>農林業と人間生活の関係について理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 2 収穫・調整・販売 ○育林 1 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅲ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な作業内容の概要を学ぶ。</li> <li>夏野菜、草花に関する基本的な栽培技術を身に付ける。</li> <li>間伐の目的と方法について学習する。</li> <li>間伐木の有効利用の重要性を理解し、伐倒木の枝払を行う。</li> <li>丸加工で広がるデザインの可能性について学習する。</li> <li>丸棒で製作可能な木工品を製し、間伐材を使うことの意義について学習する。</li> <li>農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
2学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 ○育林 1 樹木調査 2 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅲ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な作業名と作業内容の概要を学習する。</li> <li>秋冬野菜に関する基本的な栽培技術を身に付ける。</li> <li>四国カルスト及び面河渓での樹木調査を実施し、森林の生態系について学習する。</li> <li>学校林、町有林の間伐を行い、伐倒・枝払い・集材や搬出演習を行う。</li> <li>丸棒を用いた木工品の木肌の美しさを表す方法について学習する。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし
3学期	○園芸 1 圃場の整備 ○育林 1 刃物の手入れ 2 林地見学 ○林産加工 1 木材の工作 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>圃場の整備を農閑期にしておくことが今後の農作業の効率を向上させることにつながることを理解する。</li> <li>刃物の使い方や研磨方法について学習する。</li> <li>郡内の林地を視察し、久万林業の実態を理解する。</li> <li>木工品の商用について学習し、作品のマニュアルづくりを行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし

科目名	植物バイオテクノロジー	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	1 植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得し、農業の各分野でその技術を応用する能力と態度を育てる。 2 無菌播種や移植の実習などを通して、無菌操作の基本的な知識と技術を習得する。	教科書・副教材等	植物バイオテクノロジー（実教出版）		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	・植物の無菌操作に関心をもち、無菌操作に必要な機器や使用方法に関する実験・実習に意欲的に取り組むとともに、無菌培養の環境と生育の関係を探究しようとする実践的な態度を身に付けている。			・学習用具の準備 ・学習活動への取組 ・ノート作成	
思考・判断・表現	・無菌操作に必要な機器や薬品の働きを多面的に考察し、殺菌効果について適切に判断するとともに、植物の無菌培養についての課題を合理的に解決する実践的な能力を身に付けている。 ・器具や培地の殺菌条件について正確に表現できる。			・レポート作成 ・定期考査	
技能	・無菌培養に関する基礎的な技術を身に付け、培養過程における無菌状態の確保を適切に実施することができる。			・発表の内容や仕方 ・レポート作成	
知識・理解	・無菌的条件の設定や、無菌培養に必要な基本操作及び機器と薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を身に付け、培養の過程における無菌状態の確保の必要性を理解している。			・学習活動への取組 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 植物組織培養の実際Ⅰ (1) 組織培養の目的 (2) 組織培養の施設と器具 (3) 器具と薬品類の取扱 (4) 培地の作成 (5) 組織培養の手順		・バイオテクノロジーという言葉の意味を理解し、その利用目的について理解する。 ・組織培養の施設と機器・器具の概要を理解し、機器・器具の取り扱い方を学習する。 ・器具や薬品の安全な取り扱い方を学習する。 ・試薬の計量を正確に行い、目的とする培地を作成できる知識や技能を身に付ける。		中間・期末
2 学 期	2 植物組織培養の実際Ⅱ (1) 無菌播種と培養 (2) 未熟種子の播種 (3) 完熟種子の播種 (4) ラン類の継代培養の手順 (5) ラン類の継代培養の実際		・ラン科植物を用いた無菌播種による大量増殖について学習し、植物バイオテクノロジーにおける目的を理解する。 ・ウチョウランの無菌播種を行い、未熟播種法における材料の調整方法や殺菌方法、播種の方法について学習する。 ・ラン類の継代培養を行い、分割・移植の手順を理解する。 ・培養中に発生するコンタミネーションについて学習し、無菌操作の重要性を理解する。 ・培養植物の成長を観察し、植物体がもつ分化全能性について学習する。		中間・期末
3 学 期	3 バイオマスエネルギーの利用		・光合成とバイオマスの関係を理解し、バイオマスが再生可能なエネルギーであることを学習する。 ・バイオマスエネルギーの変換利用によって、様々な分野に応用できることを理解する。		実施なし

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。	教科書・副教材等		森林科学（実教出版）	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	・森林が有機生産や地球環境の保全において大きな役割を果たしていることを理解し、木材生産や国土・環境の保全などの、森林がもつ多面的な機能を総合的に利用する能力と態度が身に付いている。			・学習用具の準備 ・学習活動への取り組み ・ノート作成	
思考・判断・表現	・材木の育成と環境保全の関係など、世界や日本が直面している問題や今後の課題を多面的に捉え、考察できる。			・レポート作成 ・定期考査	
技能	・森林生産や森林の多面的な機能が、人間、生物、自然環境に相互に影響する役割を活用して、森林の継続的、総合的な利用について考察できる。			・発表の内容や仕方 ・レポート作成	
知識・理解	・森林が環境保全に果たす役割や現状、造材の特性や生育、森林を総合的に利用するための基礎的・基本的な知識を身に付けている。			・学習活動への取り組み ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林の保育と山地の保全 (1) 材木と林地の保育 (2) 森林の保護 (3) 治山	・材木の健全な育成を促し、速やかに目的の森林に導く方法とその成立基盤である山地の安定を図る方法について学習する。 ・材木と林地の保育について、基本的な考え方や作業の進め方について学ぶ。 ・人類共通の環境と資源として、同時に、個人の財産としての森林をどのように保護するかを考える。			中間・期末
2 学 期	(4) 林道 2 木材の利用 (1) 材木の伐採 (2) 造林と集材 (3) 木材の運搬 3. 森林の総合的利用	・自然環境に調和する林道について、計画から設計、施工、保守管理についてまで、幅広く学ぶ。 ・伐採について、調査、計画、方法、現在使われている高性能林業機械などを学び、どのようにして保護していくのかを考える。 ・高性能林業機械における、造材、集材の方法を学ぶ。 ・森林の多面的機能を具体的な事例で示し、それぞれをまとめて定着を図る。			中間・期末
3 学 期	4 持続可能な森林経営	・持続可能な森林基準を学習する。			実施なし

科目名	森林経営	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 持続可能な森林経営について理解を深め、森林の計画や管理の在り方に関する基礎的な知識と技術を習得する。 2 森林の測定・森林機能の評価や森林経営情報の活用などの実践的な能力を身に付ける。	教科書 ・ 副教材 等	森林経営（実教出版）		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に興味・関心を持ち、積極的な学習活動への参加がなされている。</li> <li>使用する道具等を正しく使っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>ノート</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に必要な実践的な知識・技術が身に付いている。</li> <li>安全面も考慮し、的確な判断で活動できている。</li> <li>活動結果が正確にレポートに表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> <li>発表内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に関する、基本的な技術が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に関する知識を習得し、その技術を活かしていく方法を理解できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション 1 森林と森林経営 （1）わが国と世界の森林 （2）森林経営の意義と役割 2 森林の機能 （1）林産物生産機能 （2）環境保全機能 （3）保健休養機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営の授業内容や学習方法について理解する。</li> <li>日本と世界の森林資源や木材の需給状況、木材貿易の動向について理解する。</li> <li>森林経営の意義と役割について理解する。</li> <li>森林から林産物を生産することによってもたらされる機能について理解する。</li> <li>森林からもたらされる水源のかん養機能、国土や環境の保全機能について理解する。</li> <li>豊かな人間性の育成、生活の福祉と健康、森林環境教育などに役立つ機能について理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	3 森林の測定と評価 （1）森林の測定 （2）森林の機能の評価 （3）リモートセンシングの利用 4 森林経営の計画 （1）森林経営の目標 （2）森林施業計画 （3）森林空間の利用計画 5 森林経営の管理 （1）森林経営の管理組織 （2）森林施業と生産管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の大きさの調査、直径・樹高・材積等の測定方法について理解する。</li> <li>森林の機能を調べるさまざまな方法を理解する。</li> <li>林産物生産機能の評価、森林の公益的機能の評価方法について学ぶ。</li> <li>空中写真・衛星リモートセンシングによる森林調査の方法について理解する。</li> <li>将来の森林経営の目標についての計画。</li> <li>生育調査や観察記録などの整理・まとめを行い、次学期の計画について理解する。</li> <li>比較調査や1・2学期のまとめを行い、レポートにまとめる方法を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生育調査や測樹の結果をまとめる。</li> </ul>			実施なし

科目名	グリーンライフ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	1 農業と農山村の多面的機能と対人サービスの特性について学習する。 2 地域の自然や農山村の実態を学習し、環境分野への関心を高める。 3 農山村の生活向上および発展を図る力を育てる。	教科書・副教材等		グリーンライフ (実教出版)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業及び農村の多面的な役割に興味・関心を持ち、学習活動への積極的な参加をしている。</li> <li>農山村に目を向け、その特徴や問題点について関心を持っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>授業で使用する資料の活用</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業及び農山村の持つ多面的機能を理解している。</li> <li>グリーンツーリズムをとおして、農村生活の向上を図ろうとする態度が身に付いている。</li> <li>実習や調査活動の記録や考察等が正確にされている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農村に関する調査・研究や農業生物の育成に関する研究活動を行っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンツーリズムの意義や役割等を理解している。</li> <li>多様な地域資源の重要性を理解し、その活用方法について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で使用するプリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 グリーンライフの世界 (1) ライフスタイルとグリーンライフ (2) 地域環境の再生・活性化とグリーンライフ (3) グリーンライフの学びの世界 2 市民農園	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」が重視される世の中に移行している現在、グリーンライフの持つ役割を理解する。</li> <li>地域資源を有効活用することにより地域再生を果たした実例などを学習し、都会にはない農山村の良さを確認する。</li> <li>市民農園の実態を把握し、都市と農村の交流について学ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	3 観光農園、直売所 (1) 観光農園、直売所とその特徴 (2) 観光農園、直売所と農業・農村生活の向上 4 農業・農村の機能の発見と活用 (1) 自然環境と農業・農村の発見・活用 (2) 地域農産物の発見と栽培・加工 (3) 農村文化の発見と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の観光農園・直売所の実態を調査し、多様化する観光農園や直売所増加の背景について学び、地域産業の発展にどのように貢献できるかを考える。</li> <li>農業、農村の魅力を発見し、その活用方法について考える。</li> <li>地域で生産される農産物の現状を学び特産物とはどのようなものかを学習する。</li> <li>地域農産物の利用形態と加工品・加工方法を調査し、地域特産物について学習する。</li> <li>地域の伝統的な農産物を食文化の関わりについて学習する。</li> </ul>			期末
3 学 期	5 グリーンツーリズム (1) グリーンツーリズムの特徴 (2) グリーンツーリズムの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンツーリズムの意義やあゆみについて学習し、その社会的・経済的効果について理解する。</li> <li>多種多様な地域資源を活用してのグリーンツーリズムが、農山村振興につながることを学習する。</li> </ul>			実施なし

科目名	木材デザイン	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	1 目的にあったデザインを作成するためには、どのようなことを考慮しなければならないか考えられる。 2 美しさと機能を兼ね備えたデザインを考え、作品に仕上げることができる。		教科書 ・ 副教材等	・暮らしの図鑑 木のもの 楽しむ工夫×木工作家・ブランド27×基礎知識 (翔泳社)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアに対する関心を深め、デザインを考案しようとする努力ができる。</li> <li>・他と協力して、安全かつ確実に作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・実習への取り組み姿勢</li> <li>・ノートの点検</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や用途に合った完成像をイメージしながら計画を立てることができる。</li> <li>・安全に配慮して実習を行うことができる。</li> <li>・美しく色合いを表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の観察</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージに合った作品をバランスよく製作することができる。</li> <li>・木材を正確に切断、接合することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の観察</li> <li>・実技試験</li> <li>・作品の評価</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の特性を理解し、木材加工に取り組むことができる。</li> <li>・工作機械を安全に使用方法を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 木材の使い方 (1) 食べる・敷く・使う (2) 整える・飾る・身に付ける (3) 住む・香る (4) 触れる・遊ぶ・DIY	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と木材との関わりについて学習する。</li> <li>・日常生活での木材の使用用途について学習する。</li> </ul>			期末
2 学 期	2 木にまつわる基礎知識 (1) 木工のきほん  3 NCルータによるプログラム (1) プログラムについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹種の概要について学習する。</li> <li>・木材の特徴や加工道具について学習する。</li> <li>・木材の特性を生かす塗装について学習する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NCルータのプログラムについて理解する。</li> </ul>			期末
3 学 期	(2) 文字デザインの作成 (3) 操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインをプログラム化し、機械への入力方法を理解する。</li> <li>・NCルータの操作方法を身に付ける。</li> </ul>			実施なし



科目名	森林野外活動	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	<p>1 森林の多目的機能や総合的な利用を体験的に学習することにより、森林や環境に対する興味・関心を高める。</p> <p>2 登山に必要な基礎的な知識・技術を学び、自ら考え行動する力を育成する。</p>	教科書 ・ 副教材 等			<p>・石鎚山系 学びのフィールドミュージアム (愛媛新聞社)</p> <p>・ゆるっと始めるキャンプ読本 (KADOKAWA)</p>
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動に興味・関心を持ち、積極的な学習活動への参加がなされている。</li> <li>・森林や林業に対する関心が高まる。</li> <li>・丁寧に提出物を作成し、提出する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・レポート</li> <li>・ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動に必要な実践的な知識・技術が身に付いている。</li> <li>・安全面も考慮し、的確な判断で活動できている。</li> <li>・活動結果が正確にレポートに表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・授業の中で使用するプリント</li> <li>・定期考査の論述問題</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山・野外活動に関する、基本的な技術が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・発表の内容や仕方</li> <li>・定期考査の論述問題</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山に関する知識を習得し、その技術を活かしていく方法を理解できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>1 キャンプ基礎 (1) キャンプ道具の使用方 法・選び方 (2) キャンプ道具メン テナンス (3) 料理方法</p> <p>2 登山の基礎 (1) 地図の見方 (2) 服装・荷物の詰め方 (3) 山の歩き方</p> <p>3 安全教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林観察・野外活動での注意点や事故・怪我への対処方法について理解する。</li> <li>・山歩きに必要不可欠な地図の見方について学ぶ。</li> <li>・疲れにくい歩き方や、体力の配分について学習する。</li> <li>・水分補給の必要性や必要に応じた水の取り方について学ぶ。また、即効性のある糖類を食べることの必要性と食べるタイミングについて学ぶ。</li> <li>・ごみ拾いを行いながら登山をし、マナーを身に付けたり、自然の大切さを体感する。</li> <li>・山間部等で遭遇する危険生物について学ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	4 森林動物の観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林内の動物の生き方と特徴を学びながら自然保護のあり方についても考える。</li> <li>・森林に生息する動物の生態、分類、地質など森林に関する様々な知識を、多角的・総合的に身に付ける。</li> </ul>			期末
3 学 期	5 レポートのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の活動レポートをまとめる。</li> </ul>			実施なし

科目名	森林環境	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	<p>1 放置されて荒れた人工林を再生し、森林環境を守るためにできる管理方法を学び、森林のためにできる技術を身に付ける。</p> <p>2 森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養などの多面的機能を有しており、私たちの生活と深く関わっていることを理解する。</p>	教科書・副教材等		図解これならできる山づくり 人工林再生の新しいやり方 (農文協)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林環境に目を向け、その問題点について興味・関心がある。</li> <li>放置された人工林を、どのような森林にすればよいか関心がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取組</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林の実態を多面的に考察できる。</li> <li>森林環境の課題解決に向けた実践的な能力が身に付いている。</li> <li>実習、調査活動後の記録や考察が正確に表現できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート作成</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工林の再生のための間伐や枝打ちなどの方法が身に付いており、どのような管理をすればよいか理解できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>管理の内容や仕方</li> <li>レポート作成</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林と地域環境との関係について考察できる。</li> <li>悪化している森林環境の重要性を理解し、その改善策を考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取組</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>1 現状調査</p> <p>2 木の密度管理</p> <p>3 選木</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習林内の植生や環境を調査し、現状と課題が理解できる。</li> <li>森林の密度を調査し、適切な管理方法の知識と技術を身に付ける。</li> <li>森林内の様々な状況を判断して残す木、切る木を選ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	<p>4 間伐</p> <p>5 枝打ち</p> <p>6 環境の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に十分留意し、選木に従い、森林の状況に応じた間伐作業を行う。</li> <li>間伐と同時に、残す木に対して、森林内の観察をしながら適切な枝打ちを行う。</li> <li>自然環境の保全方法について学習する。</li> </ul>			期末
3 学 期	7 森林環境のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間学んできたことをまとめ、私たちができる森林環境の保全について学習する。</li> </ul>			実施なし

科目名	林業と情報	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	1 社会や企業における生産・販売・管理など様々な場面で活用されるシステムの利用・活用方法について理解する。 2 農業分野における情報の種類と内容を理解し、農業生産や農業経営に利用するための能力を養う。	教科書 ・ 副教材 等		自作教材	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業情報システムに関心をもち、モデル化やシミュレーションなどに関する課題について探求しようとしている。</li> <li>農業学習に関心を持って、実践的な課題について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習状況の観察</li> <li>授業への取り組み</li> <li>データ収集</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸問題の解決を目指して思考を深め、合理的に判断することができる。</li> <li>基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル化やシミュレーションなどについて適切に選択して活用している。</li> <li>記録、整理、発信が適切にできる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実技試験</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測、制御や情報通信のしくみ、データベースによる情報の蓄積や管理の概念を理解している。</li> <li>情報発信の重要性を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 農業学習と情報活用 (1) 電卓検定の基礎 (2) 農業学習とプロジェクト学習 (3) プロジェクト発表と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得に取り組みさせる。</li> <li>農業学習の特徴について理解させる。</li> <li>プロジェクト学習の進め方を理解させ、実際に取り組みさせる。</li> <li>プロジェクトの発表課程で情報活用能力を身に付けさせる。</li> </ul>			期末
2 学 期	2 情報システム (1) 情報システムの概要 (2) システム開発 (3) データベースシステム (4) 計測と制御 3 農業情報および森林・環境情報の活用 (1) 農業情報と伝達メディア (2) 農業の各分野における情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な情報システムの存在と役割について理解させる。</li> <li>情報システムが大きな社会基盤になっていることを理解させ、農業への応用について考えさせる。</li> <li>データベースを利用し、地域農業の変遷についての調査結果と農林統計情報を使い、地域農業の現状について考えさせる。</li> </ul>			期末
3 学 期	(3) 農業のシステム化 (4) 森林情報の活用 (5) 環境情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培、販売、農業経営の各場面で必要な情報は何か理解させる。</li> <li>情報メディアの種類と農業農村でのメディアの役割を考えさせる。</li> <li>森林情報の種類と情報内容、活用技術について理解させる。</li> </ul>			実施なし
【技能審査の成果の単位認定】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>在学中に「全国商業高等学校協会主催情報ビジネス検定1級」または「全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級(ビジネス部門)」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「農業情報処理」の単位数に2単位を加えることができる。</li> </ul>					

科目名	ビジネス基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解する。また、ビジネスに関連する技術を身に付けるようにする。 2 ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 3 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。	教科書・副教材等	ビジネス基礎 (東京法令出版) 全商ビジネス計算実務検定 模擬テスト2・3級 (東京法令出版)		
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解している。また、ビジネスに関連する技術を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>定期考査</li> <li>小テスト</li> </ul>	
思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力が養われている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の質問等の応答</li> <li>実習への取り組み</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の質問等の応答</li> <li>実習への取り組み</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第1章 商業の学習とビジネス 第1節 商業を学ぶ重要性和と学び方 第2節 ビジネスの役割 第3節 ビジネスの動向と課題 第2章 ビジネスに対する心構え 第1節 信頼関係の構築 第2節 良好な人間関係とコミュニケーション 第3節 情報の入手と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産、流通、消費に関わるビジネスの動向・課題について、具体的な事例と関連付けて理解する。</li> <li>日本における産業構造の変化、グローバル化、情報化など経済社会を取り巻く環境の変化がビジネスに影響を及ぼしている現状について学ぶ。</li> <li>ビジネスマナーの意義、身だしなみ、挨拶と礼の仕方、電話応対、来客応対、名刺交換などに関する基本的なビジネスマナー及びホスピタリティについて学び実践力を養う。</li> <li>ビジネスを円滑に行う上でのコミュニケーションの意義について理解を深める。</li> </ul>			期末
2 学期	第3章 経済と流通 第1節 経済の基本概念 第2節 流通の意義と役割 第3節 ビジネスの諸活動 第4章 企業活動 第1節 企業の形態と組織 第2節 企業のマーケティング活動 第3節 資金の管理と調達 第4節 財務諸表の役割 第5章 企業活動に対する税	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通の役割について、生活水準の向上や生産の高度化などによる生産と消費の隔たりの拡大と関連付ける。</li> <li>卸売業と小売業の分類と機能及び小売業の業態の変化について学ぶ。</li> <li>情報技術の進歩に伴う流通の効率化と最適化について、具体的な事例を用いて理解を深める。</li> <li>企業の形態と経営組織の種類と特徴、企業における意思決定の流れ、日程管理及び仕事の進め方と改善方法について学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	第6節 雇用 第5章 身近な地域のビジネス 第1節 身近な地域の課題 第2節 身近な地域のビジネスの動向 第6章 取引とビジネス計算 第1節 売買取引の方法 第2節 代金決済の方法 第3節 電子商取引と代金決済 第4節 計算用具の歴史 第5節 ビジネス計算の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに関する国内の身近な地域の抱える課題について扱い、地域の発展に及ぼす影響と関連付けて分析し、考察する。</li> <li>売買契約を締結する際に取り決る条件、売買契約の締結と履行の流れについて理解する。</li> <li>商品に関する代価、割引と割増、度量衡、仕入原価と売価、複利と単利、積立金、外国貨幣と換算、株式の評価、債券の利回り、手形割引及び製品単価の計算方法を理解し、実践力を磨く。</li> <li>記数法、概数、概算及び端数処理を学ぶ。</li> </ul>			学年末

科目名	簿記	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。 2 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、科学的な根拠にもとづいて課題に対応する力を養います。 3 適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	教科書・副教材等	現代簿記 (東京法令出版) 完全段階式標準検定簿記問題集 全商3級 (東京法令出版)		
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身につけている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>授業中の質問等の応答</li> <li>定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することにもとまらな課題を見だし、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて課題に対応することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の質問等の応答</li> <li>実習への取り組み</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指し、組織の一員としての自己の役割を認識し、他者と積極的に関わり、適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任をもって取り組むことができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業態度</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容		学習のねらい		考査
1 学期	第Ⅰ編 簿記の原理 第1章 簿記の概要 第2章 簿記一巡の手続 第3章 会計帳簿 第Ⅱ編 取引の記帳 第1章 現金・預金の記帳 第2章 商品売買の記帳 第3章 掛取引の記帳 第4章 手形取引の記帳 第5章 有価証券の記帳		<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記の意味、目的、種類、歴史を理解する。</li> <li>資産・負債・純資産・収益・費用の概念、貸借対照表と損益計算書の役割を理解する。</li> <li>仕訳から決算に至る簿記の手続の流れを理解する。</li> <li>現金出納帳、当座預金出納帳、小口現金出納帳、仕入帳、売上帳、売掛金元帳、買掛金元帳、商品有高帳の作成方法を理解する。</li> <li>手形の種類と振出、受取、裏書等について認識し、仕訳方法を理解する。</li> <li>有価証券の取得と売却の記帳方法を理解する。</li> </ul>		中間・期末
2 学期	第6章 固定資産の記帳 第7章 その他の債権・債務の記帳 第8章 販売費と一般管理費の記帳 第9章 個人企業の純資産の記帳 第10章 個人企業の税金の記帳		<ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産の概念と種類、それらの取得と売却の記帳法について理解する。</li> <li>その他の債権、債務の記帳法を理解する。</li> <li>個人企業の純資産を増加・減少させる取引、引出金に関する処理の記帳法を理解する。</li> <li>個人企業における所得税、住民税、固定資産税、印紙税、消費税の概念とそれらの記帳法を理解する。</li> </ul>		中間・期末
3 学期	第Ⅲ編 決算 第1章 決算整理 第2章 財務諸表作成の基礎 第Ⅳ編 本支店会計 第1章 本支店間の取引 第2章 本支店財務諸表の合併 第Ⅴ編 記帳の効率化 第1章 伝票の利用 第2章 会計ソフトウェア		<ul style="list-style-type: none"> <li>決算整理の意味を理解し、現金過不足、貸倒れの見積り、売買目的の有価証券の評価、固定資産の減価償却、消耗品の処理、費用と収益の繰延べ・見越しおよび引出金の整理に係る記帳法を理解する。</li> <li>精算表、貸借対照表、損益計算書を作成する方法を理解し、財務諸表を作成する学習活動に取り組む。</li> <li>支店会計が独立している場合の本店と支店間の取引、支店相互間の取引の記帳法を理解する。</li> <li>会計ソフトウェアを活用するメリットやデメリットおよび効率的に取引の記録と財務諸表の作成をおこなう方法を理解する。</li> </ul>		学年末

科目名	財務会計	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	1 2年次の簿記で学んだことを発展させ、特殊な取引の記録・計算・整理をする。 2 簿記で作成した帳簿や報告書を、利害関係者説明に説明するための計算や理論について学習する。			教科書・副教材等	新訂版 財務会計Ⅰ (東京法令出版) 標準検定簿記問題集2級 1級会計 (とうほう)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な知識を身につけ、会計の一連の手続きを理解している。</li> <li>財務諸表を迅速かつ正確に作成し、内容を分析できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>定期考査</li> <li>小テスト</li> </ul>	
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>会計の基本的な技術を学び、それを活用して、適切な判断ができる。</li> <li>会計の判断基準に従って判断処理を適切に行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の質問等の応答</li> <li>実習への取り組み</li> </ul>	
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業における簿記に興味を持ち、理解しようとし、主体的に学習に参加している。</li> <li>取引の整理ができ、財務諸表の作成技術を身につけようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の質問等の応答</li> <li>実習への取り組み</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第1編 財務会計の基礎 企業と会計 企業会計制度と会計法規 第2編 貸借対照表 貸借対照表のあらまし 資産の意味・分類・評価 流動資産 固定資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業会計の意義や役割、財務会計と管理会計の違いについて理解する。</li> <li>財務諸表の構成要素である資産・負債・純資産・収益・費用の概念について理解する。</li> <li>貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書の様式と区分表示について理解する。</li> <li>資産の意味とその分類、資産の評価を理解する。</li> <li>現金・預金の意味と銀行勘定調整表の作成方法、有価証券の分類について理解する。</li> <li>棚卸資産の単価と数量の計算方法を理解する。</li> <li>売価還元法による原価の算定方法を理解する。</li> <li>有形固定資産の減価償却費の計算方法、固定資産の売却・除却に関する会計処理を理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	流動負債 固定負債 純資産 貸借対照表の作成 第3編 損益計算書 損益計算書のあらまし 損益計算書の意味と基準 第4編 財務諸表の活用 財務諸表分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>無形固定資産の意味と種類、のれんの会計処理および期末評価について理解する。</li> <li>投資その他の資産の種類を理解する。</li> <li>負債の意味とその分類、手形の二次的責任、偶発債務、負債性引当金の会計処理を理解する。</li> <li>株式会社の仕組みと株式会社の設立時と開業時の会計処理を理解する。</li> <li>株式会社における当期純損益の計上、剰余金の配当・処分、資本金の増加と減少、資本剰余金と利益剰余金、自己株式、新株予約権、会社の合併の会計処理などについて理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	第5編 連結財務諸表  総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>収益・費用の計上基準、仕入割引・売上割引、役員収益・役員費用、工事契約の会計処理などについて理解する。</li> <li>株式会社における法人税・住民税・事業税の会計処理を理解する。</li> <li>報告式の貸借対照表を作成する学習活動に取り組む。</li> <li>株主資本等変動計算書の意味と作成方法について理解し作成する。</li> <li>報告式の損益計算書を作成する学習活動に取り組む。</li> <li>財務諸表分析の意義を理解し、企業の実態を分析する財務諸表分析に取り組む。</li> <li>連結財務諸表の意義・目的・種類、企業集団の実態を分析する上での連結財務諸表の有用性について理解する。</li> </ul>			実施なし

科目名	情報処理	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	1 情報処理機器の活用に関する知識と技能を習得する。 2 情報を適切に収集、処理し活用する能力と態度を身に付ける。			教科書・副教材等	新訂版 情報処理 (東京法令出版) 情報処理検定試験問題集 2、3級 (とうほう)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報処理機器の活用に関する基礎・基本的な知識を身につけている。</li> <li>情報の意義や役割を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>定期考査</li> <li>小テスト</li> </ul>	
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい情報処理機器の活用方法を目指して、思考を深めている。</li> <li>基礎・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の質問等の応答</li> <li>実習への取り組み</li> </ul>	
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報処理機器の活用について関心を持ち、よりよい活用法を身につけようとしている。</li> <li>知識と技術の習得に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>実習への取り組み</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	第1章 ビジネスと情報処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを活用することの重要性および情報を収集・処理・分析して表現し、活用することの重要性について学びます。</li> <li>色彩が心理や感情に及ぼす影響、伝えたい意図を的確に表現するための要素の構成と配置及び図解表現の効果と方法について学ぶ。</li> <li>情報技術の進歩や情報が社会で果たす役割と社会に及ぼす影響、情報に対する責任及び情報を取り扱う際に留意することを学ぶ。</li> <li>個人情報と知的財産に関する法規を学び、個人情報の漏洩や著作権の侵害などの具体的な事例を考察します。</li> <li>コンピュータの基本的な機能、データ処理の仕組みを学ぶ。</li> <li>ハードウェアのしくみや LAN の構成、インターネットのしくみを学ぶ。</li> <li>情報セキュリティの重要性とセキュリティソフトについて学ぶ。</li> </ul>			中間・期末
	第2章 表計算ソフト活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計的手法などを用いてビジネスに関する情報を分析することの重要性を学ぶ。</li> <li>平均、中央値、分散、標準偏差の意味とその活用方法を学ぶ。</li> <li>情報の傾向、特徴などを読み取る力、表やグラフを用いて伝えたいことを表現する力をつける。</li> <li>表計算ソフトウェアの基本的な関数、整列、検索、抽出などの基本的な機能を用いて情報を分析し、適切な表とグラフを作成する方法を学ぶ。</li> <li>文書作成ソフトウェアの特徴と基本操作について学び、表、グラフ、図形、静止画を効果的に用いて、報告書、企画書、リーフレットなどを作成する方法について実習を行う。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第3章 ビジネス情報と情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計的手法などを用いてビジネスに関する情報を分析することの重要性を学ぶ。</li> <li>平均、中央値、分散、標準偏差の意味とその活用方法を学ぶ。</li> <li>情報の傾向、特徴などを読み取る力、表やグラフを用いて伝えたいことを表現する力をつける。</li> <li>表計算ソフトウェアの基本的な関数、整列、検索、抽出などの基本的な機能を用いて情報を分析し、適切な表とグラフを作成する方法を学ぶ。</li> <li>文書作成ソフトウェアの特徴と基本操作について学び、表、グラフ、図形、静止画を効果的に用いて、報告書、企画書、リーフレットなどを作成する方法について実習を行う。</li> </ul>			中間・期末
	第4章 データベースソフト利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計的手法などを用いてビジネスに関する情報を分析することの重要性を学ぶ。</li> <li>平均、中央値、分散、標準偏差の意味とその活用方法を学ぶ。</li> <li>情報の傾向、特徴などを読み取る力、表やグラフを用いて伝えたいことを表現する力をつける。</li> <li>表計算ソフトウェアの基本的な関数、整列、検索、抽出などの基本的な機能を用いて情報を分析し、適切な表とグラフを作成する方法を学ぶ。</li> <li>文書作成ソフトウェアの特徴と基本操作について学び、表、グラフ、図形、静止画を効果的に用いて、報告書、企画書、リーフレットなどを作成する方法について実習を行う。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第5章 ビジネスの計算と表計算ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計的手法などを用いてビジネスに関する情報を分析することの重要性を学ぶ。</li> <li>平均、中央値、分散、標準偏差の意味とその活用方法を学ぶ。</li> <li>情報の傾向、特徴などを読み取る力、表やグラフを用いて伝えたいことを表現する力をつける。</li> <li>表計算ソフトウェアの基本的な関数、整列、検索、抽出などの基本的な機能を用いて情報を分析し、適切な表とグラフを作成する方法を学ぶ。</li> <li>文書作成ソフトウェアの特徴と基本操作について学び、表、グラフ、図形、静止画を効果的に用いて、報告書、企画書、リーフレットなどを作成する方法について実習を行う。</li> </ul>			中間・期末
	第6章 金融・証券投資の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションにおける図形、静止画、動画、アニメーション、音声の効果的な活用について学ぶ。</li> <li>プレゼンテーションソフトウェアを活用して効果的にプレゼンテーションを行う方法について学び、実習を行います。</li> </ul>			実施なし